RFM分析

いいお客様 P r o V 5 いいお客様 P r o 3 6 5 V 5

操作マニュアル



有限会社オズシステム

目次

Ozsystem RFM分析Pro (BUN)	M0101) V6.00	
T TAVAFL RFM		
、いいお各	禄Pro	
S	分析如理	DM印刷
		DMI進借
	アンル分析	
	RFM分析 RF.RMFM分析は、RFM分析の パラメータで指定して分析します。	1717日19世
	ABC分析	
	引き上げ率	
	CDM分析	
	CENTIT	
	補助処理(MDB,CSV処理)	保守
	補助処理メニュー	操作マニュアルの表示 操作マニュアルの表示には『Adobe Acrobat
		Reader(アドビアクロバットリーダー油が必要です
		リンフル西川見平 いいお客様Proについて
		ママリン キャッシューザ お問い合わせ
		A REAL PROPERTY AND A REAL
Feet前面		(J)
CSC. HUMIN		
Ozsystem RFM分析Pro (E	BUNM1001) 保守メニュー	
この)メニューの処理は、DM及びメールラ	データについての処理です。
	データのドックス	t−f
	7 ~ \$007 \$97	<u>س</u>
	1920 - 10 - 10 - 10 - 10	
	データフォルダの)変更
	データの復元	

いいお客様Proにバンドルされている エスコートについては、別マニュアルを参照してください。

RRRRRRR******************************	FFFFFFFkRRRR出グ購F考 MMMMMMMMMIFFFFFFFTIカ 買 M:	IIIIIIII 分分分分分分方MMMM物一日分R	析析析析析析析法分分分分のプに析下	析析析析析選履つ:M	:夕幸先幸フト:パパパでで択歴い(分)	・トサモサクス・ラララのの にてか析	:フシ行テーM: ノノ: い 結じ		…イト指ブドラののフフブ	:ルの定ルのメ::シシ分分:: ツ:	名指:の指 (?)・ (?)・ (?)・ (?)・ (?)・ (?)・ (?)・ (?)・	…の宅CC省宅タユユーの名	… 旨:S 定 役 … レレ · シ … の …	」xラA)」ミ		eタc の ?	···· の ・···・ ・··・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	·····デ場 s ······れ · ト ·····	学 上 S			····································	····· 合 の ···· ··· ··· ··· ··· ··· ··· ·) 場	合)										$\begin{array}{c} \cdots \\ \cdots \\ \cdots \\ 1 \\ 1 \\ 1 \\ 1 \\ 1 \\ 1 \\ 2 \\ 2 \\ 2 \\ 2$	357890222679123345
デデデデデデデデデABBAB	シシシシシシシシシシン C C C C C C C C C C C C C C	分:分分分分分分分分析分析析	析分析析析析析析析 下:	析::::::::	と(((((()))))と()()()()()()()()())というしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しんしょう しょうしょう しょう	- はトサササフ コケ フシ	・ フシシシー設結 … アー	アーーール定果 イト	イトトトド)ブ	ルのののの ッ の雷	····名指指指指:ク····) 指····	…の……………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………<td>… 「 」 「 」 」 」 「 」 、 」 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、</td><td>·····主义文·C</td><td>: c c : C V : c · · · · · · · · · · · · · · · · · ·</td><td>e デ ・ デ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</td><td></td><td>·····デタ s ······</td><td></td><td>·····タ場一·····の</td><td>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td><td>場)の合</td><td></td><td>····· 合</td><td>)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·</td><td>22223333333333333</td><td>$\begin{array}{c} 7 \\ 7 \\ 8 \\ 9 \\ 0 \\ 1 \\ 2 \\ 4 \\ 5 \\ 6 \\ 6 \\ 7 \\ 8 \end{array}$</td>	… 「 」 「 」 」 」 「 」 、 」 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	·····主义文·C	: c c : C V : c · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	e デ ・ デ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		·····デタ s ······		·····タ場一·····の	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	場)の合		····· 合)										· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	22223333333333333	$\begin{array}{c} 7 \\ 7 \\ 8 \\ 9 \\ 0 \\ 1 \\ 2 \\ 4 \\ 5 \\ 6 \\ 6 \\ 7 \\ 8 \end{array}$
ABABABABABABABABABABABABABABABABABABAB	CCCCCCCさききききまた。	5析析析析析析	()()()()()率率率率率率率率率率率率率率率率率率率率率率率率率率率率	*対対フラ出分分:分分分分	家象インカ析析分析析析析	ンシシーク設結 析	ーールの定果 と((())対対	- トトド省 ブーよ部象象象	いいい アンシンション アンシンション アンシン		(1) の イトトト		AS c 定		eデe	I S S S S C) タ s · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	のデ		い合タ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·)) の ···· ··· · · · · · · · - の デ	ロ 場」タ場	Anの合タ			······ ······ ······)										33444444444455	
引引引CCCCCCCCC	ききき PPPPPPPPP PPPPPP PPP PPN	ににになる分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分分	率率率析析析析析析析析析	分分分 と::::::	析析析 は(((((((::: トオオオクンティー・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(((・・・・マシシシー M結	イカ析:::アーーールパ果	一設結::イトトトドラブ	ル定果 :: :: ルのののメッ	ド)ブ::名指指指指一ク	の「ツ・・・の定定定を名」。	旨・ク・・・旨:・・・ のの方・名・・・ 方ECA 副推	ELLA シーク・・・)×SCA 定定	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	定 ー ー ー ー ー	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	····· タ場一··)	····· の合タ			·····································)										· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	5555555666666	$ \begin{array}{c} 2 \\ 4 \\ 5 \\ 6 \\ 7 \\ 8 \\ 9 \\ 0 \\ 1 \\ 2 \\ 4 \\ 5 \end{array} $
テ保おDDDDDDDD	ン 守 問 M M M M M M M M M M M M M M M M M M		<u>-</u> わ	ト…せ.()(((()())))	 		 		: ::::定果)の確定)ブ 確認)	····································	・・・・ ・・・ ・・・	の か れ	···· ···· 全	·····	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	666677777777	
D D D D D	M 印 M 印 M / M / M /	」刷刷ーーー	: - パ - パ - パ	((レレレ	北タデデデ	刂,	定シののの) 一保保保	ル守守守	設 : : :	: 定デデデ		タクショク	··· ハノノ い ノ イ 復	ジル元	・・・・ クダ	 Γ σ	… , ッ) 変	····フ更・	••••• •	••••	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· · · · ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· · · · · · · · · · · · ·		 	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	 	· · · · · · ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· · · · · · · · · · · ·	7 7 7 8 8	7 8 9 0 0

RFM分析

Ozsystem RFM分析Pro (BUNM0101) V6.00	In the second second	Ozsystem RFM分析Pro (BUNV0101)
いいお客様Pro 分析処理	DM印刷	印 いいお客様分析(データ形式の指定) RFM分析
デシル分析 RFM分析 RFMの分析。PRの分析の パシーン学校表して分析ます。	DM準備 DM印刷	RF,RM,FM分析は、バラメータで指定して分析します。
ABC分析		新規/修正
어려고 아주 CPM分析		○ 新規にパラメータを設定して分析を行う
補助処理(MDB,CSV処理)	保守	○前に分析したパラメータを修正しながら分析する パラメータファイル読込
補助処理メニュー	操作マニュアルの表示 時間でニュアルの表示に描くため、Action th Photo Photo P	○ 直前のパラメータのまま ○ 直前のパラメータのままで、RFMパラメータ画面へ直行
Esc:前间而	ø	データの形式の指定 ・

RFM:分析とは

RFM分析は、お客様のこれまでの行動を下記の3つに分類してランク分けを行い、 拡販のための行動を、コスト・時間・労力を少なく効果的に行うためのものです。

- ・最近買ってくれたお客様
- ・よく買ってくれるお客様
- ・これまでの購入金額の多いお客様

この考え方に基づいた3つの視点を、次のようにR、F、Mという文字で表します。

- R Recency(リセンシィー)・・・・・最終来店日(直近の購入日)
 - F Frequency (フリクエンシィー)・・利用回数
 - M Monetary(マネタリィー)・・・・購入金額

そして個々のお客様にR、F、Mそれぞれのランク付けを行い、3つのランクの組合せで分類 します。RFM分析は、このような方法でお客様をランク分けして、それぞれのランクに合わ せて、効果的な拡販のための行動を行うためのものです。

本パッケージでは、R, F, Mをそれぞれ5段階のランクに分類し、そのランクの組み合わせでグループ分けする事により、行っています。P.25 参照参照

RF、RM、FM分析(2次元クロス集計)とは

RFM分析の3つのパラメータのうち2つのみでランク付けを行います。 パラメータの設定が少なく、分析結果が見やすくなります。 2次元クロス集計は、RFM分析のパラメータ指定画面で指定します。 操作手順

※新規/修正部分を選択します。

※データ形式の指定を選択します。

いいお客様 P r o は、Excel2000以上のエクセルブックまたはCSV形式のファイル、 Access MDB型式及びAccess accdb形式をサポートしています。

※F12:実行をクリックして処理を進めます。

※ワンポイント



サンプルデータにて試用 で内蔵しているサンプルデータを使用できます。 各種パラメータも自動設定されますので 最初はこの機能で体験してください。

サンプルデータの形式は、3種類を用意していますので、該当のデータをお使いください。

(BUN	V0102)	
	サンプルデータの形式を指定して、F12:次へ をクリックしてください。 。外部データは、Excelブック(xls) ○外部データは、csvデータ(osv) ○外部データは、Accessデータ(mdb)	
	外部データが、Excelブック(xls)の場合	
	1. マイドキュメントに下記2つのファイルが作成されます。 サンプル 顧客情報.xls サンプル 購買情報.xls	
	2. サンプレデータ用のパラメータが次画面以降に設定されています。 そのまま次へをクロックしていき処理を進めてください。	
	3. パラメータ画面最後の分析結果のファイル名はマイドキュメントの下記ファイル名は サンプル_分析結果.xls	なっています。
	外部データが、CSVデータ(csv)の場合	
	1. マイドキュメンドに下記2つのファイルが作成されます。 サンプル 顧客情報.csv サンプル 購買情報.csv	
	 サンプルデータ用のパラメータが次画面以降に設定されています。 そのまま次へをクリックしていき処理を進めてください。 	
	3. パラメータ画面最後の分析結果のファイル名はマイドキュメントの下記ファイル名に サンプル_分析結果CSV.xls	なっています。
	外部データが、Accessデータ(mdb)の場合	
	1. マイドキュメントに下記ファイルが作成されます。 サンプル 顧客.MDB	
	 サンプルデータ用のパラメータが次画面以降に設定されています。 そのまま次へをクリックしていき処理を進めてください。 	
	3. パラメータ画面最後の分析結果のファイル名はマイドキュメントの下記ファイル名に サンプル_分析結果MDB.xls	なっています。
	ESC:中止	F12:次へ

RFM分析:(外部ファイル名の指定)

1	いいお安様分析	(外部ファイル名の指定)	REMAN
-			
	<u>外部ファイル名の指定</u> > 対象シートの指定 > 1	フィールドの指定 > パラメータ指定 > 出	刀選択>フック名の指定
o#cm ∧ /			
┌	額の1子住場所 1会類は顧客情報にある	◎ 購買余額は購買情	報にある
一外部デ			TRUCKS &
分析を	行いたいデータを指定します。(顧客情報)	最近使ったフ:	ァイルから設定 F9:参照
C:¥Us	ers¥ozcr7¥Documents¥サンプル_顧客情報	₩.XLS	1
- 外部デ	ータ2(購買情報)		
購買情	報が別ファイル又は別シートにある場合に指	宇。顧客情報に購買情報がある地	書合け不更
			ан ю 1.2<0 ,
		最近使ったフ:	■ T +
C:¥Us	ers¥ozcr7¥Documents¥サンプル_購買情報	し、XLS	◎ロ143 「See マイルから設定 F8:参照
C:¥Us	ers¥ozcr7¥Documents¥サンプル_購買情報	し、MLS 長.XLS	^{∞1+6} 「≪。 マイルから設定 F8:参照
C:¥Us	ers¥ozcr7¥Documents¥サンプル_購買情報	し、私は「IIIIII」 し、私LS	∞□+3 「菜。 ァイルから設定 F8:参照
C:¥Us	ers¥ozcr7¥Documents¥サンプル_購買情執	していた! していた! していた! していた!	∞ロ+る F 柔。 ァイルから設定 F8:参照
C:¥Us	ers¥ozcr7¥Documents¥サンプル_購買情報	し、私は mine and して して して して して して して して して して して して して	[∞] ロ vo 「≪。 マイルから設定 F8:参照
C:¥Us	ers¥ozcr7¥Documents¥サンプル_購買情報		∞ロ+る F 柔。 ァイルから設定 F8:参照
C:¥Us	ers¥ozcr7¥Documents¥サンプル_購買情報		[∞] ロ vo T ≪。 ァイルから設定 F8:参照
C:¥Us	ers¥ozcr7¥Documents¥サンプル_購買情報	<u>最近使ったフ</u> 最.XLS	▼イルから設定 F8:参照 F12:次へ
C:¥Us ESC:前個	ers¥ozcr7¥Documents¥サンプル_購買情報 画面へ 0 1351		▼イルから設定 F8:参照 F12:次へ
C:判s ESC:前個 13/05/11 青報: お	ers¥ozcr7¥Documents¥サンプル_購買情報 画面へ 0 1351 5客様の属性(お客様番号・お名前・	<u>最近使ったフ</u> B.XLS 住所等)のデータ	▼イルから設定 F8:参照 F12:次へ
C:¥Us ESC:前面 13/05/10 青報: ま 買情報:	ers¥ozcr7¥Documents¥サンプル_購買情報 回面へ 0 1351 5客様の属性(お客様番号・お名前・ お客様の購買の記録	<u>最近使ったフ</u> 最.XLS 住所等)のデータ	ァイルから設定 F8:参照 F12:次へ
C:¥Us ESC:前個 13/05/11 青報: お 買情報: つのファ	ers¥ozcr7¥Documents¥サンプル_購買情報 画面へ 0 1351 5客様の属性(お客様番号・お名前・ お客様の購買の記録 ・イルに顧客情報と購買情報がある場	<u>最近使ったフ</u> 最.XLS 住所等)のデータ	▼イルから設定 F8:参照 F12:次へ
C:¥Us ESC:前個 する/05/11 青報:お 買情報: つのファ 講買金額	ers¥ozcr7¥Documents¥サンプル_購買情報 の 1351 3客様の属性(お客様番号・お名前・ お客様の購買の記録 イルに顧客情報と購買情報がある場 〔は顧客情報にあるを選択してくださ	<u>最近使ったフ</u> 最.XLS 住所等)のデータ 合は い。	ァイルから設定 F8:参照 F12:次∽
C:¥Us ESC:前価 13/05/10 青報:お: つの買金額 つのファ	ers¥ozcr7¥Documents¥サンプル_購買情報 回へ 0 1351 5 客様の属性(お客様番号・お名前・ お客様の購買の記録 イルに顧客情報と購買情報がある場 気は顧客情報にあるを選択してくださ	<u>最近使ったフ</u> 最.XLS 住所等)のデータ :合は い。 ている根合け	▼イルから設定 F8:参照 F12:次へ

・外部データがExcelブックで、1つのブックに顧客情報のシートと購買情報のシートがある ・外部データがAccess MDBで、1つのファイルに顧客情報のテーブルと購買情報のテーブルがある 場合も

購買金額は購買情報にあるを選択してください。

※F12:実行をクリックして処理を進めます。

※ワンポイント

最近使ったファイルから設定 で、使用履歴から選択する事ができます。

外部データがAccess MDB の場合、下記画面が表示される場合があります。

S FRM_ACCDB_NONE		×
必要なライブラリが存在しません。 http://www.microsoft.com/ja-jp/d	ダウンロードし、インストールし lownload/details.aspx?id=13	てください。 <u>255</u>
1)上記 url をクリック		
2) マイクロソフトダウンロードセンター	ーが表示されます。	
簡単な説明		
バージョン: 1 言語の変更: 日本語 ▼	発行日: 20:	10/05/10
このダウンロードのファイル		
このセクションのリンクは、このダウンロードで使け ドしてください。	用可能なファイルに対応しています。適したファ	マイルをダウンロー
ファイル名	サイズ	1をクリック
AccessDatabaseEngine.exe	25.7 MB	ダウンロード
AccessDatabaseEngine_X64.exe	28.3 MB	ダウンロード
	-	
3) Assara Databaga Engina ava zita	燁のガウンロドボカンをかし。	Ъ
	igo)メリンロート いメン をクリソ	2
4) 夫行して、インストール		

この場合は、画面の指示に従って、必要なファイルを マイクロソフトのホームページ からダウンロードしてください。

R F M 分析: (対象シートの指定: E x c e 1 データの場合)



[※]顧客情報、購買情報の対象データがあるシート名を指定してください。

※F12:実行をクリックして処理を進めます。

※ワンポイント

データの先頭行がタイトルの場合は、

▽ 先頭行をフィー ルド名として扱う をクリックして、チェックを入れてください。

[※]データの1行目がタイトルの場合は、先頭行をタイトル名として扱うにチェックを入れてください。 タイトル行が複数行の場合はその行数を指定します。 例えば3とすると、データの先頭3行は無視して分析します。

RFM分析:(先頭行の指定:CSVデータの場合)

Ozsystem RFM分析	Pro (BUNV0131) V4.30)				
		いいお客様:	分析(先頭行	の指定)	RFM	分析
	外部ファイル名の指	定 > <u>先頭行の指定</u>	> フィールドの指数	包 > パラメータ指定 >	出力選択 > ブック名の	
┌外部データ1	(顧客情報)———					
C:¥Users¥ozo	cr7¥Documents¥サ	ンプル_顧客情報	₹.csv			
▶ 伊 先頭行をう	*イトル行として扱う	タイトルイ	行数 1 💽			
ギー1	郵便番号	住所1	住所2	住所3	メールアドレス	累計購買額 🔨
0000001	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem.jp	262406
0000002	5770824	1王所1 分形1	1王所2 (分前2	住所は	test@ozsystem.jp	10504
0000003	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem.jp	822834
0000005	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem.jp	635219
0000006	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem.jp	552092
0000007	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem.jp	355575
0000008	5770824	住所1 分析1	1111112 (分前:2	住所3 分部9	test@ozsystem.jp	725625
00000000	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem.jp	744573
2			H012	1993 S		>
	(睡眠)]
C:¥Users¥ozo	(時具1月和) cr7¥Documents¥サ	ンプル 購冒情朝	₹.csv			
☞ 先頭行をタ	、 イトル行として扱う	タイトル	行数 1 🔹			
+-1	商品コード	購買日	購買額			^
0000001	B00118	2012/04/13	3326			
0000001	D00312	2012/05/14	24781			
0000001	AUUU74 F00445	2012/11/28	9872			
0000001	D00445	2012/03/25	24758			
0000001	C00245	2013/03/18	6262			
0000001	C00290	2013/03/10	15588			
0000001	A00092	2013/02/05	19106			
	C00279	2012/09/09	14541			
0000001	D00208	2013/02/20 2012/11/01	9943 9388			
0000001	D00313	2012/06/09	9331			*
ESC:前画面	ia l					F12:次へ
2017/06/09	7:51					

※ ▼ 先頭行をフィー ルド名として扱う

データの1行目がタイトルの場合は、 先頭行をタイトル名として扱うにチェックを入れてください。 タイトル行が複数行の場合はその行数を指定します。 例えば3とすると、データの先頭3行は無視して分析します。

RFM分析:(対象テーブルの指定:Accessデータの場合)

Ozsystem F	RFM分析Pro (BUNV0141)				
		いいお客様:	分析(対象テ	ーブルの指定)	1	RFM分析
	外部ファイル名の指	定 > <u>対象テーブルの指</u>	違 > フィールドの	指定 > パラメータ指詞	セ> 出力選択 ブッ	ク名の指定
┌外部デー	-タ1(顧客情報)――					
C:¥User	s¥ozcr7¥Documents ³	¥サンプル」顧客.ME	B			
Ż	「象テーブル <mark>お客様</mark> 購買履	<u>计青報</u>				
+-1		住所1	住所2	住所3	メールアドレ	ス累計購買額▲
0000001	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsyste	m.jp 262406
0000002	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsyste	em.jp 10504 em.jp 238782
0000004	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsyste	m.jp 822834
0000005	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsyste	m.jp 635219
₹	J110024	111月11	11月14	1±//13	lesteozsyste	ы.jp 552552 м
が立て二つ。	- みり(時空が書き店)					
C'¥Ulaen	ーダム(時員)月刊() s¥ozon7¥Doouments	¥+ナンプカ. 菌安 MT)B			
C.TOSEI	STOZELL TO OCUMENTS	エクシンフルJulg Har-IVIL State				
ダ	村象テーブル お客様	計青辛反 FRFR				
	<u>2時,員 76</u>	цие.				
ギー1	+-2	購買日	購買額			A
0000001	0002	2012/04/13 2012/05/14	3326 24781			
0000001	0003	2012/11/28	9872			
0000001	0004	2012/05/29	16174			
1000001	0005	2012/11/11	24758			*
ESC:	画面へ					F12:次へ
2013/05/	10 13:52					

※顧客情報、購買情報の対象データがあるテーブルを指定してください。

RFM分析:(フィールドの指定)

Ozsystem RFM5	分析Pro (BUNV0201)	V2.60				
) I		いいお客様が	分析(フィー)	いの指定)	RFN	1分析
	外部ファイル名の指	定 > 対象シートの指詞	≧> <u>フィールドの</u> ≸	<u>記定</u> > パラメータ指定 >	→ 出力選択 > ブック名	の指定
_「 キーの指定((お客様が一意に特	寺定できるキーの指	定) ———			
サンプル」顧客	字情報.XLS (お客様情	報)	サン	∠プル_購買情報.XLS (購	買履歴)	
11			ギー	-1		
			<u>•</u> =			-
			- =			-
┌購買金額フ	ィールド/購買日の	指定				
C:¥Users¥o:	zcr7¥Documents¥?	ナンプル_購買情報.Σ	KLS(購買履歷)	l.	□ 抽出打	冒定を行う。
○ 金額指知	ዸ ○ 単価×数	全指定				町面表示
購買額			• ×			-
購買日購	買日		•			
■ 購買情	報にキーのある顧	客情報のみを対象	とする。			
+-1	郵便番号	住所1	住所2	住所3	メールアドレス	累計購▲
0000001	5770824	住所1 分析1	住所2 分前2	住所3 分析9	test@ozsystem.jp test@ozsystem.jp	26240 10504 및 ₩
0000003	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem.jp	23878: 一次
0000004	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem.jp	82283 😤
0000005	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem.jp	63521! 表
0000006	5770824	医斑!	兵邸2	<u> </u>	testwozsystem.jp	55209 - 示
•		III				•
ギー1	+-2	購買日	購買額			^
0000001	0001	2012/04/13	3326			
0000001	0002	2012/03/14	9872			一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一
0000001	0004	2012/05/29	16174			1 Sel
0000001	0005	2012/11/11	24758			美
0000001	0006	2013/03/18	6262			
0000001	0007	2013/03/10 2012/02/05	10106			T
ESC:前画面	面へ					F12:次へ
2014/11/14	10:53					

※お客様を特定できるキーのフィールドを指定してください。

※顧客情報、購買情報が分かれている場合は、 結びつけができるようキーの指定をしてください。

※データ上の購買金額が

金額として記録されているか、単価×数量という形で記録されているかを選択してください。

※購買日を指定してください。

※F12:次へをクリックして処理を進めます。



が表示されます。

各ボタンでデータ内容がすべて表示されます。

☑ 抽出指定を行う。
 データを絞り込むこともできます。
 抽出指定画面表示
 チェックを入れると、ボタンが使用できるようになります。

例えば、サンプルデータでは、購買情報はサンプル_購買情報.XLSにありますので 下記のような画面が表示されます。

Ozsystem RFM	l分析Pro (BUNV020	2)			
Ũ	1	いいお客様分析・	(フィールドの)	指定:抽出指定)	RFM分析
- 抽出を特定 サンプル.顧 キー2 - 抽出条件	できるフィールド 客情報:XLS (購買履	の指定 ^題)	•		
 指定文 	字を含む 〇 指	定文字と一致 0	指定文字と一致	(範囲指定)	
0002			~		
又は「	有効				
			~		
又は 二	有効				
			~		
#-1	+-2	購買日	購買額		A
0000001	0001 0002	2012/04/13 2012/05/14	3326 24781		
0000001	0003	2012/11/28 2012/05/29	9872 16174		≡ ←
0000001	0005	2012/11/11	24758		
0000001	0007	2013/03/10	15588		ž.
0000001	0008	2013/02/05	19106		表
0000001	0010	2012/05/05	9943		示
0000001	0011	2012/11/01	9388		
0000001	0013	2012/06/09	15755		
1000001	0014	2013/03/07	23533		
ESC:戻	స				
2013/05/16	11:14				

商品を特定できるフィールドを指定し、その内容を抽出条件に指定すれば 指定した商品のみを分析対象にする事ができます。

抽出条件は、

•	指定文字を含む
	その指定文字がどこかに指定されていれば抽出されます。
	0002を指定した場合
	0002000> 0002を含むので抽出されます。
	0001000> 0002を含まないので抽出されません。(対象データとはなりません)

・指定文字と一致
 その指定文字が完全に一致すれば抽出されます。
 0002を指定した場合
 0002 ---> 0002と完全に一致するので抽出されます。
 0002000 ---> 0002では無いので抽出されません。

・指定文字と一致(範囲指定) 指定文字と一致でその範囲を指定する事ができます。

指定は、3つまで行う事ができます。

☑ 購買情報にキーのある顧客情報のみを対象とする。

にチェックを入れると 購買データにない、顧客情報は無視し、購買データのある顧客のみで分析を行います。 RFM値の計算には無関係ですが、購買のあったお客様のみを顧客一覧に出力する事ができます。

RFM分析:(RFMパラメータ設定)

いいお客様分析(パラメータ設定) RFM分析 外部ファイル名の指定 > 対象シートの指定 > フィールドの指定 > パラメータ指定 > 出力選択 > ブック名の指定 C:¥Users¥ozcr7¥Documents¥サンプル」購買情報、XLS(購買履歴) 集計方法 ・ RFM分析 2次元クロス集計 へ RF分析 へ RM分析 へ FM分析 RFM分析パ*ラメータ ランク5 ランク4 アンク5 ランク4 90 シンク4週 180 日20 180 日20 180 日20
外部ファイル名の指定 > 対象シートの指定 > フィールドの指定 > パウメータ指定 > 出力選択 > ブック名の指定 C:¥Users¥ozcr7¥Documents¥サンプル」購買情報.XLS(購買履歴) 参考:前頁条件での各値 集計方法 ・ RFM分析 2次元クロス集計 c RF分析 c RM分析 c FM分析 最小購買額 - RFM分析パウメータ - - - ランク5 ランク4 - - - R 80 120/7534 90 - - 日以内 60 120/7544 180 180 180 -
C:¥Users¥ozcr?¥D ocuments¥サンプル」購買情報.XLS (購買履歴) 集計方法 [®] RFM分析 ² 次元クロス集計 [®] C RF分析 [®] C RF分析 [©] RFM分析 [©] RFM分析 ⁹ 5×/24 ⁵ ×/25 ⁵ ×/24 ⁵ ×/25 ⁵ ×/24 ⁵ ×/25 ⁵ ×/24 ⁵ ×/23 ⁵ ×/24 ¹⁸⁰
集計方法
RFM分析パウメータ 砂ヶヶヶ 砂ヶヶヶ 設 砂ヶヶヶ ランク5 ランク4 ランク3 ランク2 ランク1 R 約0 シンク344 180 シンク344 180 日以内 60 シンク344 180 180 日 日以内 100 シンク344 180 180 日
ランク5 ランク4 ランク3 ランク2 ランク1 購買額累計 購買額累計 R 100 60 52/954 180 180 180 「開始日指定 平均額累計 平均額累計
R 30 日以内 60 2005編 90 2004編 180 2005編 180 日以内 180 日間 開始日指定 平均額累計 ······
F 50 mm F 30 52/25未満 10 ⁵ 2/25未満 2 ⁵ 2/23未満 2 ⁵ 2/25
M 1000 以下 500 子戸以上 200 千戸以上 100 千戸以上 100 千戸以上 第始日/基準日の範囲で各値を得る
R(recency: 厳終米店日時) F(frequency: 利用回数) M(monetary: 条訂購員額) 基準日
1VI 1円単位 10円単位 日円単位 7円単位 月日単位 2013年01月31日 ▲ F 購買情報は、お客様毎に一日 前日 19日本1前日★ 「 購買情報は、お客様毎に一日
サンプル設定 ラン汚規定値として保存 便利画面 シミュレート 本日 当月 前月 □ 金額0円のデータは無視する
人数の確認 ラングを規定値から読込 テンプレート シミュレート値セット 最終来店日から設定 「金額がマイナスのデータは 🌻
R5 F5 F4 F3 F2 F1 R4 F5 F4 F3 F2 F1 R3 F5 F4 F3 F2 F1 R2 F5 F4 F3 F2 F1 R1 F3 F2 F1 F1 F1 F3 F2 F1 F1 F3 F2 F1 F1 F1 F3 F2 F1 F1 F1 F1 F1 F1 F1 F3 F2 F1
M5 555 545 535 525 515 M5 455 445 435 425 415 M5 355 345 335 325 315 M5 255 245 235 225 215 M5 155 145 135 125 115 C Ju-JB
$\begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$
$\begin{array}{c} \text{m}_{3} \ \hline 500 \ \hline 50$
M1 551541531521511 M1 451441431421411 M1 351341331321311 M1 251241231221211 M1 151141131121111 C 未分類
該当部分をクリックするか または Shiftキーを押しながらマウスでなぞって 指定します。
サンプル設定 規定値として保存 規定値から読込 他の視点から テンプレート シミュレート 1つ下位
2014/10/22 10:30

※集計方法

・RFM分析

RFM3つのパラメータで分析を行います。

・2次元クロス集計

RFM3つのパラメータのうち2つで分析を行います。

例えば、RM分析では、最終来店日時と購買額での分析を行います。

※RFM分析パラメータ

$= \mathbf{P} - \mathbf{D} + \mathbf{D} $									
1/11/11/1/11/1	174-24								
ランク5	ランク	ウ4	ランク3	ランク2		ランク1			
р <u>30</u>		60 ランク5超	<u></u>	超 1.80	ランク3超	180		□ 開始日指定	
R 00	日以内		- 日以四	4 100	日以内	100	日超	年 日	H -
03 R			10 ランク4	未満 の	ランク3未満	2		1 / /	****
1. 00	回以上	30 菌以上"	10 回以_	£ 4	回以上	<u> </u>	回未満	以降のデータのみ・	と対象
a a 1000		ロロロ ランク5未満日		未満 100	ランク3未満	1.00	т.		
M 1000	成王	200 千百以上	200 千円」	<u>XÊ 100</u>	千円以上	100	未満	基準日を超えるデ、	-9
R(recency	:最終来店日	時) F(frequ	ency:利用回数	女) M(monet	tary:累計開	購買 額)		基準日	
M 01	円単位 🛛 🔿	10円単位 (○ 百円単位	◎ 千円単位	立 〇 万円	単位		2013年01月31	H 🔳
	1		1		1		- 1	前日 当月末 前	前月末
サンプ	りル設定	ランクを規定値とし	て保存 1	更利画面	シミ	ュレート		本日 当月	前月
人数	の確認	ランクを想定値かず	う読込 デ	ンプレート	シミュレ	ート値セッ	· ト	最終来店日から	設定
	•> • • • • • • • • • • • • • • • • • •	27 2 <u>2</u> ,000 <u>–</u> 107	,		*		· .		

R、F、Mそれぞれについてランクの範囲を指定します。

・基準日

この日付から最終購買日付が何日前かを計算します。 基準日を超える日付のデータは無視されます。 現在の日付未満を指定してください。 例えば 2013年1月31日を指定した場合、2013年2月1日以降のデータは無視 2013年1月30日は1日前

となります。

最終来店日が設定 データから一番新しい日付を見つけ自動設定します。

サンプルを設定します。サンプルの値は、下記の通りです。

	ランク5		ランク4		ランク3		ランク2		ランク1	
R	30	日以内	60	ランク5超 目以内	90	ランク4超 日以内	180	ランク3超 日以内	180	日超
F	50	回以上	30	ランク5未満 回以上	10	ランク4未満 回以上	2	ランク3未満 回以上	2	回未満
М	1000	千円 以上	500	ランク5未満 千円以上	200	ランク4未満 千円以上	100	ランク3未満 千円以上	100	千円

人数の確認

・ランク値 ・基準日 ・開始日(指定されていれば)

・購買情報は、お客様毎に一日に複数回あっても1回と数える(指定されていれば) の各条件で各人数を計算し表示します。 ランク値決定の補助情報となります。

ノンジャでの補助情報となりより。

Ozsy:	stem RFM分析Pro (BU	JNV035B) V2.20			
		購買日の期間	\sim 2013/01/31		F12:開始
-RF1	M分析パラメータ毎	手の人数			
	ランク5	ランク4	ランク3	ランク2	ランク1
R	٨	Å	Å	Å	A
F	٨	٨	٨	А	Å
M	٨	٨	٨	٨ 📃	٨.
ſESC	…閉じる			F12:開始で	で人数の計算を行います。

F12:開始で、計算し下記画面を表示します。

Ozsystem RFM分析Pro (I	BUNV035B) V2.20			
	購買日の期	間 ~ 2013/01/31		F12:開始
RFM分析パウメータ	毎の人数			
デンク5	ランク4	ランク3	ランク2	ランク1
R 279 _K	36 人	7 人	71 人	107人
55.8 %	7.2 %	1.4 %	14.2 %	21.4 %
F 50 人	172 人	191 人	83 人	4人
10.0 %	34.4 %	38.2 %	16.6 %	0.8 %
× 0 M	158人	182 人	人 00	70人
0.0 %	31.6 %	36.4 %	18.0 %	14.0 %
[ESU:閉じる]				500/500

テンプレート

RFM分析パラメータのランクの範囲を保存/読込を行います。 テンプレートの操作はP.35を参照してください。

便利画面

ランク範囲の指定をマウス操作で行う事ができます。

Ozsyst	em RFM分析Pro (BL	JNV0354)											
RFN	4分析パラメータ-												
Ę	シク5	ランク4		ランク3		ランク2		ランク1		○ 数値	۰ %		元に戻す
R	30 _{日以内}	60	ランク5超 日以内	90	ランク4超 日以内	180	ランク3超 日以内	180	日超	1% up	10%up	1% down	10%down
F	50 回以上	30	ランク5未満 回以上	10	ランク4未満 回以上	2	ランク3未満 回以上	2	回未満	1% up	10%up	1% down	10%down
M	1000 千円 以上	500	ランク5未満 千円以上	200	ランク4未満 千円以上	100	ランク3未満 千円以上	100	千円 未満	1% up	10%up	1% down	10%down
R	recency:最終来店	日時) F(fi	equency:	利用回数)	M(mone	etary:累計購	購買額)						
												F12:前	画面

ランクを規定値として保存

現在のランク値を規定値として保存します。 新規のデータを扱う場合の、規定値となります。

ランクを規定値から読込

規定値からランク値を設定します。

☑ 開始日指定

2013年05月01日 💌

データの購買日が指定日付より前のデータを無視します。

各値を得る

購買データの最小購買額等の値を知る事ができます。 データ正当性の目安として利用します。

- 参考: 則貝余件	での各個――
最小購買額	1,006
最大購買額	25,997
購買額累計	178,988,905
平均額累計	13,374
データ数	13,383

開始日/基準日の範囲で各値を得る

開始日~基準日の範囲で各地を得て、表示します。

購買情報は、お客様 F 毎に 一日に複数回

毎に一日に複数回あっても1回と数える

チェックをつけると、1お客様の一日の購買回数は1回と数えます。 posデータ等で、品目が分かれている場合に利用します。 チェックをつけない場合は、回数は購買データの数となります。 例)

2013/02/01大根1802013/02/01人参1002013/02/01蒟蒻50

チェックをつけない場合の回数 3

チェックをつけた場合の回数 1

□ 金額0円のデータは無視する

□チェックを入れない場合(規定値)
 金額が0円のデータも、処理します。
 来店ポイント等で、購入しなくても購買記録をとっている
 場合等に使用します。

■チェックを入れた場合 金額が0円のデータは、処理しません。

┌ 金額がマイナスのデータは 無視する

- □チェックを入れない場合(規定値) 金額がマイナス(値引き等)のデータも処理します。
- ■チェックを入れた場合 金額がマイナス(値引き等)のデータは処理しません。

後述するシミュレートを行った結果から、RFM分析パラメータをセットします。

ID	R5	R4	R3	R2	R1	F5	F4	F3	F2	F1	M5	M4	M3	M2	M1	
基件	30	60	90	180	180		30			2	1000		200	100	100	
1	33	66	99	198	198	55	33	11	2	2	1100	550	220	110	110	
2	33	66	99	198	198	55	33	11	2	2	1200	600	240	120	120	
3	33	66	99	198	198	55	33	11	2	2	1300	650	260	130	130	1
4	33	66	99	198	198	55	33	11	2	2	1400	700	280	140	140	
5	33	66	99	198	198	60	36	12	2	2	1100	550	220	110	110	
6	33	66	99	198	198	60	36	12	2	2	1200	600	240	120	120	
7	33	66	99	198	198	60	36	12	2	2	1300	650	260	130	130	
8	33	66	99	198	198	60	36	12	2	2	1400	700	280	140	140	
9	33	66	99	198	198	65	39	13	3	3	1100	550	220	110	110	
10	33	66	99	198	198	65	39	13	3	3	1200	600	240	120	120	
11	33	66	99	198	198	65	39	13	3	3	1300	650	260	130	130	
12	33	66	99	198	198	65	39	13	3	3	1400	700	280	140	140	
13	33	66	99	198	198	70	42	14	3	3	1100	550	220	110	110	
14	33	66	99	198	198	70	42	14	3	3	1200	600	240	120	120	
15	33	66	99	198	198	70	42	14	3	3	1300	650	260	130	130	
16	33	66	99	198	198	70	42	14	3	3	1400	700	280	140	140	
17	36	72	108	216	216	55	33	11	2	2	1100	550	220	110	110	
18	36	72	108	216	216	55	33	11	2	2	1200	600	240	120	120	
19	36	72	108	216	216	55	33	11	2	2	1300	650	260	130	130	
20	36	72	108	216	216	55	33	11	2	2	1400	700	280	140	140	
21	36	72	108	216	216	60	36	12	2	2	1100	550	220	110	110	-

採用したいRFM分析パラメータを選択して、

- RFM値を画面にセット でセットができます。

※ R F M 分析パラメータのシミュレート

シミュレート

RFM分析パラメータの値を、増減しながら最適な値を求める為の資料を出力 します。(最大256通り) 下記画面で、設定を行ってください。

Ozsystem RFM分析Pro	(BUNV0355) 体験版									
分析パラメータを到 この分析パラメータ	を何種類か変えること	値は変化します。 により、最適なパラメ	ータを見つけ	ます。						(
-RFM分析パラメー	ø									
ランク5	ランク4	ランク3	ランク2		ランク1		• 数值	с%	前面面	「から取得」
R 30 日以7	9 60 日以内	90 5094題	180	ランク3超 日以内	180	日超	1up	10up	1Down	10Down
F 50 回以	と 30 ランク5# 回以上	満 10 ランク4未 回以上	満 2	ランク3未満 回以上	2	回未満	lup	10up	1Down	10Down
M 1000 千円	500 学/25#	満 <u>200</u> ランク4未 上 200 千円以	満 上 100	ランク3未満	100	千円 未満	1up	10up	1Down	10Down
R(recency:最終到	R店日時) F(frequen	y:利用回数) M(mo	onetary:累計則	購買額)		-1-11-2				
RFM分析パラメー	タ基準に対して、下記	指定に従い、シミュレ	ートします。							
_RFM分析パラメー	タシミュレート指定―									
R © 変化させる(Upする) 🤉 変化させる	(Downする) © 変化	させる(自動増	[減) ○ 変([とさせない	4	•回分	10 🔹 %	づつ 組み	*合わせ数
R © 変化させる(Upする) C 変化させる	(Downする) © 変化	させる(自動増	[減) ○ 変([とさせない	4	・回分	10 🔹 %	づつ	64
R © 変化させる(Upする) C 変化させる	(Downする) © 変化)	させる(自動増	[減) ○ 変([とさせない	4	・回分	10 🔹 %`	づつ _組	合せ表示
-シミュレート結果										
表示順	○ ID順 ・ <mark>グルー</mark>	プA順 0 グルーフ	プB順 ○ グ	ループC順	¶ ∩ 7л	~~プD	順 0 グ	ループE順	1	
出力	マ 人数 マ 金額	☞ 回数								
グラフ中の値	○ 表示する 📃 👘	138 3,748	1,313 1,844	2.223 1	・表示しな	ev -				<u> </u>
ESC:前画面へ								F12:2	ノミュレー	ト(次へ)

組合せ表示

シミュレートするRFM分析パラメータの値を表示します。

Ozsyster	m RFM;	分析Pro	シミユし	ノートデ	-夕一覧											
ID	R5	R4	R3	R2	R1	F5	F4	F3	F2	F1	M5	M4	M3	M2	M1	-
基準	30	60	90	180	180	50	30	10	2	2	1000	500	200	100	100	
1	33	66	99	198	198	55	33	11	2	2	1100	550	220	110	110	
2	33	66	99	198	198	55	33	11	2	2	1200	600	240	120	120	
3	33	66	99	198	198	55	33	11	2	2	1300	650	260	130	130	E
4	33	66	99	198	198	55	33	11	2	2	1400	700	280	140	140	
5	33	66	99	198	198	60	36	12	2	2	1100	550	220	110	110	
6	33	66	99	198	198	60	36	12	2	2	1200	600	240	120	120	
7	33	66	99	198	198	60	36	12	2	2	1300	650	260	130	130	
8	33	66	99	198	198	60	36	12	2	2	1400	700	280	140	140	
9	33	66	99	198	198	65	39	13	3	3	1100	550	220	110	110	
10	33	66	99	198	198	65	39	13	3	3	1200	600	240	120	120	
11	33	66	99	198	198	65	39	13	3	3	1300	650	260	130	130	
12	33	66	99	198	198	65	39	13	3	3	1400	700	280	140	140	
13	33	66	99	198	198	70	42	14	3	3	1100	550	220	110	110	
14	33	66	99	198	198	70	42	14	3	3	1200	600	240	120	120	
15	33	66	99	198	198	70	42	14	3	3	1300	650	260	130	130	
16	33	66	99	198	198	70	42	14	3	3	1400	700	280	140	140	
17	36	72	108	216	216	55	33	11	2	2	1100	550	220	110	110	
18	36	72	108	216	216	55	33	11	2	2	1200	600	240	120	120	
19	36	72	108	216	216	55	33	11	2	2	1300	650	260	130	130	
20	36	72	108	216	216	55	33	11	2	2	1400	700	280	140	140	
21	36	72	108	216	216	60	36	12	2	2	1100	550	220	110	110	-
閉じる	1月	汉出											RFM(該面	新にセッ	ット

各設定を行い、 F12:シミュレート(次へ)

をクリックしてください。

出力される結果から最適な値を選択して、

※RFM分析パラメータのシミュレートの流れ

①基準となるRFM分析パラメータを設定

	•				22222222
ランク5	ランク4	ランク3	ランク2	ランク1	
R 30 日以内	60 Ē	ンク5超 1以内 90	ランク4超 日以内 180	ランク3超 日以内 180	日超
F 50 aut	30 Ē	ンク5未満 10 間以上 10	ランク4未満 回以上 2	ランク3未満 回以上 2	回未満
M 1000 f円	500	ンク5未満 一円以上 200	ランク4未満 千円以上 100	ランク3未満 千円以上 100	千円 未満
R(recency:最終来	店日時) F(fre	quency:利用回数)	M(monetary:累計購	[買額)	

②変化させるものを指定

-RF	M分析パライータシスコレート指定		
1(1)			
R	• 変化させる(Upする) ○ 変化させる(Downする) ○ 変化させる(自動増減) ○ 変化させない	4	・回分 10 ・ %づつ
R	© 変化させる(Upする) ○ 変化させる(Downする) ○ 変化させる(自動増減) ○ 変化させない	4	▼回分 10 ▼ %づつ
R	• 変化させる(Upする) ○ 変化させる(Downする) ○ 変化させる(自動増減) ○ 変化させない	4	・回分 10 ・ %づつ

変化させる(Upする)

基準値から指定回数分指定%づつ増加させます。

変化させる(Downする)

基準値から指定回数分指定%づつ減少させます。

変化させる(自動増減)

基準値を中央として指定回数分前後に指定%づつ増減させます。

③出力するものを選択する。

例えば A グループの人数が全体の20%程度にしたいという目標があった場合 シミュレート結果 表示順 CID順 **・ ブループA順 C ブループB順 C ブループD順 C ブループD順** C ブループE順

出力 🔽 人数 Г金額 Г回数

グラフ中の値 ・表示する 3748 3748 1844 2223 11: 0表示しない

④ F12:シミュレートをクリックして、シミュレートを開始する。
 次画面でファイル名を設定し、実行キーをクリックするとシミュレートが開始されます。

⑤結果を見る

サンプルデータの場合は、Aグループが20%近辺のIDは、複数あります。



この中で、Aグループ以外の比率が望みの割合に近いIDを決める

Ozsystem RFM分析Pro (BUNV03	51) V2.50 体験版			
	いいお客様分	析(パラメータ設定)	RFM分析	
タ C:¥Users¥ozor7¥Documents 集計方法 - RFM分析パラメータ	H部ファイル名の指定 > 対象シートの指定 > ぼサンプル」購買情報、XLS (購買履歴 分析 2次元クロス集計 ○ F	フィールドの指定 > <u>パラメータ指定</u> > 出力) 3F分析 C RM分析 C FM分析	 選択> ブック名の指定 参考: 前頁条件での各値 最小購買額 	
ランク5 ランク4 R 80 日以内 80 F 50 回以上 30	ランク3 ランク3 ランク2 シング3 第0 52044 180 自以内 100 第2044 ラング3 第2044 180 ロリンド 100 第2044	ランク3 Fシク3 FUC内 「1800日程 「開始日 「一二年一 「回以上 「「「開始日 「二二年一 」 「「「開始日 「「開始日 「二二年一 」 「「「「」」 「「」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「」」 「」」 「」」」 「」 「	3指定 データのみを対象 ・ダのみを対象 ・ダのみを対象 ・メックのから対象 ・メックのから対象 ・メックのから対象 ・メックのから対象 ・メックのから対象 ・メックのから対象 ・メックのから対象 ・メックのから対象 ・メックのから対象 ・メックのから対象 ・メックのから対象 ・メックのからがする ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
M 1000 世界 500 R(recency:最終来店目時) M 「1円単位 10 サングル設定 ラン 1000 世界 1000	2205年度 200 2705年度 100) P(frequency:利用回数) M(mone 円単位 C百円単位 C千円単() 佐和電磁()で保存 使利面面		KAデーマ・ IDME1/基準日の範囲でを値を担る IDME1/基準日の範囲でを値を担る ITF1日 ・ I用 I目の1日 ・ I動 I目の1日 ・ I動 I目の1日 ・ I動 I目の1日 III I目の1日 IIII IIIII IIIII IIII IIIII III IIII III III III III III III II II III II II II III III II III III II III II II II II III	シミュレート値セッ
 へ高の7442 アメートのクループ分化 アドクト・マクパー アドクト・マク	マクロルにかられる	PALL Pres 97F Pall 100 F3 F8 F1 F2 F5 F4 F3 F2 F5 F3 F8 F1 F3 F4 F5 F4 F3 F2 F2 F3 F2 F1 F5 F4 F3 F2 F2 F3 F2 F1 F5 F4 F3 F2 F2 F3 F2 F1 F5 F4 F3 F2 F2 F3 F2 F1 F5 F4 F3 F2 F2 F3 F2 F1 F5 F4 F3 F2 F2 F3 F2 F1 F5 F4 F3 F2 F2 F3 F2 F1 F5 F4 F3 F2 F2 F3 F2 F1 F5 F4 F3 F2 F2 F3 F2 F1 F5 F4 F3 F2 F2 F3 F2 F1 F5 F4 F3 F2 F2 F3 F2	* 集戦する R1 防衛 40 55 124 55 124 55 124 55 124 55 124 55 124 55 124 55 124 55 124 124 124 124 124 124 124 124 124 124	

⑧表示された画面から⑤で決めたIDを選択して、「RFM値を画面にセット」をクリックする。

Ozsysti	ETTI KEMI	JAIPIO	2211	ノードチ												
ID	R5	R4	R3	R2	R1	F5	F4	F3	F2	F1	M5	M4	M3	M2	M1	•
基準	30	60	90	180	180	50	30	10	2	2	1000	500	200	100	100	
1	33	66	99	198	198	55	33	11	2	2	1100	550	220	110	110	
2	33	66	99	198	198	55	33	11	2	2	1200	600	240	120	120	
3	33	66	99	198	198	55	33	11	2	2	1300	650	260	130	130	E
4	33	66	99	198	198	55	33	11	2	2	1400	700	280	140	140	
5	33	66	99	198	198	60	36	12	2	2	1100	550	220	110	110	
6	33	66	99	198	198	60	36	12	2	2	1200	600	240	120	120	
7	33	66	99	198	198	60	36	12	2	2	1300	650	260	130	130	
8	33	66	99	198	198	60	36	12	2	2	1400	700	280	140	140	
9	33	66	99	198	198	65	39	13	3	3	1100	550	220	110	110	
10	33	66	99	198	198	65	39	13	3	3	1200	600	240	120	120	
11	33	66	99	198	198	65	39	13	3	3	1300	650	260	130	130	
12	33	66	99	198	198	65	39	13	3	3	1400	700	280	140	140	
13	33	66	99	198	198	70	42	14	3	3	1100	550	220	110	110	
14	33	66	99	198	198	70	42	14	3	3	1200	600	240	120	120	
15	33	66	99	198	198	70	42	14	3	3	1300	650	260	130	130	
16	33	66	99	198	198	70	42	14	3	3	1400	700	280	140	140	
17	36	72	108	216	216	55	33	11	2	2	1100	550	220	110	110	
18	36	72	108	216	216	55	33	11	2	2	1200	600	240	120	120	
19	36	72	108	216	216	55	33	11	2	2	1300	650	260	130	130	8
20	36	72	108	216	216	55	33	11	2	2	1400	700	280	140	140	
21	36	72	108	216	216	60	36	12	2	2	1100	550	220	110	110	-
閉じる	5 ↑耳	四出										-	RFM(i	極面	面にセッ	، ト

RFM分析値がセットされる。

※RFM分析でのグループ分け

_RFM分析でのグループ分け R(recency・最終来店日時)の俎店								
10 101,01,01 (0) / //	> July indiceditely.	124キントノロロトリノマンルの長		-		設定するグループ		
F5 F4 F3 F2	F1 K4 F5 F4 F3	F2 F1 K3 F5 F4	F3 F2 F1 R2 F5	F4 F3 F2 F1	F5 F4 F3 F2 F1	◎ グループA		
- Mも <mark>555545535</mark> 5255	olb Mb <mark>455445435</mark>	425 <mark>415</mark> M5 <mark>355</mark> 345	335 <mark>325315</mark> Mb 255	245235225215 M	ະ <mark>155145</mark> 135125115	○ グループB		
M4 554 544 534 524 5	5 <mark>14</mark> M4 454 444 434	<mark>424 414</mark> M 4 <mark>354 344</mark>	<mark>334 324 314</mark> M4 <mark>25</mark> 4	244 234 224 214 M·	4 <mark>154</mark> 144134124114	○ グループC		
M3 <mark>553 543 533 523 5</mark>	5 <mark>13</mark> M3 <mark>453443433</mark>	423 <mark>413</mark> M3 <mark>353</mark> 343	333 323 313 M3 253	3 243 233 223 213 M	3 153 143 133 123 113	C グループD		
M2 552 542 532 522 5	512 M2 452442432	422412 M2 352342	332 322 312 M2 252	2242232222212 M	$2 \frac{152142132122112}{112}$	C グループE		
M1 551 541 531 521 5	oll M1 451441431	<u>421411 Mi 351341</u>	331321311 M1 251	. <mark>241</mark> 231221211 M	$1 \frac{151}{141} \frac{131}{121} \frac{121}{111}$	○ 未分類		
該当部分をクリックするか または Shiftキーを押しながらマウスでなぞって 指定します。								
						1つ上位		
サンプル設定	規定値として保存	規定値から読込	他の視点から	テンプレート	シミュレート	1つ下位		

RFM分析パラメータの値によるグループ分けを指定します。

設定するグループを指定し、

該当の枠部分をクリックするか又は Shiftキーを押しながらマウスポインタを 該当の枠の上に動かす事によって指定します。

サンプル設定

サンプルを設定します。サンプルはこのマニュアルの記載にある値です。

規定値として保存

現在のグループ値を規定値として保存します。 新規のデータを扱う場合の、規定値となります。

規定値から読込

規定値からランク値を設定します。 テンプレートについてはP.31を参照してください。

他の視点から

下記画面でR視点からだけではなく、R, F, Mの各視点から設定できます。



Fから複写

Rの視点にある「Fから複写」で、Fの視点のグループ分けをR視点に複写します。 他のボタンもそれぞれ他視点からグループ分けを複写します。

1つ上位

1つ上位に分類します。例えば グループBはグループAになります。

1つ下位

1つ下位に分類します。例えば グループAはグループBになります。

操作を1つ戻します。(Undo)

■ 戻した操作を1つ進めます。(Redo)

テンプレート

R F M分析でのグループ分けの各設定の保存/読込を行います。 テンプレートについてはP.35を参照してください。

シミュレート

P.21 参照 参照

全て設定

全てを「設定するグループ」で指定したグループにします。

1つ上位

1つ上位に分類します。例えば グループBはグループAになります。

1つ下位

1つ下位に分類します。例えば グループAはグループBになります。



操作を1つ戻します。(Undo)

戻した操作を1つ進めます。(Redo)

シミュレート

RFM分析でのグループ分けを、変化させながら(上位2段階、設定値、下位2段階) 増減しながら最適な値を求める為の資料を出力します。

Ozsystem RFM分析Pro (BUNV0357)		
RFM分析でのグループ分けの設定に 前画面のグループ分けの設定に そのまま 2段階上位 1段階上位 1段階下位 2段階下位	定を変えることにより、グループ毎の。 ついて	
ジミュレート結果 グラフ中の値 0表示 で表示	計算する事により、取回よクルーク) する 3748 よない 500	1,315 1,844 2,223 1 7
ESC:前画面へ		「F12:シミュレート(次へ)」

F12:シミュレート(次へ) をクリックしてください。

出力される結果から最適な値ものを選択して、段階を決めてください。

決めた段階を、画面から下記ボタンで設定してください。



最初の画面で、 F12: 次画面 を押すと下記画面が表示されます。 出力物の選択をおこないます。

Ozsystem RFM分析Pro (BUNV035A) V4.02 体験版			
	いいお客様分析(出力選択)	RFM分析	
外部ファイル名の指定 > 約 出力物の選択 全部チェック 全部解除	象シートの指定 > フィールドの指定 > パラメーダ指定 > 出 RFM分析顧客一覧の出力項目 □ DPD (確如・ BF	<u>力選択</u> > ブック名の指定	
	▶ KFM加各一見 外部データ1(顧客情報)	出力指定済み項目	
 ✓ グルーブ値 グルーブ値 グルーブ値のグラフの種類(左) ● 種類1 ● 種類2 ● 種類3 グルーブ値のグラフの種類(右) ● 種類4 ● 種類5 ● 種類6 	 ◆ 全指定 指定 解除 全部時 とお指定 解除 全部時 とおおった とおおった とおおった ころろろろ ころろろろ ころろろろ ころろろろろ ころろろろろろ ころろろろろろ ころろろろろろ ころろろろろろ ころろろろろろ ころろろろろろろろ ころろろろろろろ ころろろろろろろ ころろろろろろ ころろろろろろろろ ころろろろろろろ ころろろろろろろ ころろろろろろ ころろろろろろろ ころろろろろろろ ころろろろろろろろ ころろろろろろ ころろろろろろろろ ころろろろろろろろろろ ころろろろろろろろろろ ころろろろろろろろろろろ ころろろろろろろろろろ ころろろろろろろろろろ ころろろろろろろろろろ ころろろろろろろろろろろろろろろろ ころろろろろろろろろろろろろろろろ ころろろろろろろろろろろろろろろろろ ころろろろろろろろろろろろろろろろ ころろろろろろろろろろろろろろろろろ ころろろろろろろろろろろろろろろろろろろろろ ころろろろろろろろろろろろろろろろろろ ころろろろろろろろろろろろろろろろろろろろろろろろろろろろろろろろろろろろ	キー1 郵便番号 住所3 メールフドレス 累計購買額 累計利用回数 最終来店日 ック 解 ・ ・ ・ ・ ・	7. 34.8
ア グループ履歴 履歴間隔(ヵ月) 1 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	「連動用データ指定 □ 連動用データ 連動用データは、次画面で指定する	指定ブック名_RFM連動というファイ	ルになります。 🗘
 ✓ 期間別回数金額 ✓ 期間別回数金額(拡張) ○ 週単位 	<u>「王フェジン」王部</u> 月47年 □ グループA □ グループB □ グループC □ グ	バループD □ グループE □	未分類
基準日までの 12 ▼ カ月分 ○ 日単位	□曜日フィルターを指定する □日 □月 □	火口水口木口金口	土 全部解除 反転
☞ R視点人数 ☞ R視点金額 ☞ F視点人数 ☞ F視点金額 ☞ M視点人数 ☞ M視点金額	 пдсп/ли% ~ спр. 9 с Галарина Сарания Галарина Сарания<!--</th--><th>7 8 9 10 17 18 19 20 27 28 29 30</th><th>全チェック 全部解除 31</th>	7 8 9 10 17 18 19 20 27 28 29 30	全チェック 全部解除 31
RFM毎のデシル値 「Rのデシル値 「Rのデシル顧客一	□ Fのデシル値 □ 覧 □ Fのデシル顧客一覧 □	Mのデシル値 Mのデシル顧客一覧	全部チェック 全部解除
ESC:前画面へ			F12:次へ

出力物は、下記のものがあります。(内容は見本を参照してください)

RFM解析パラメータ グ	ループ履歴	R視点人数	F視点金額
グループ値		R視点金額	M視点人数
RFM顧客一覧		F視点人数	M視点金額
期間別回数金額			
期間別回数金額(拡張)			
Rのデシル値	Rのデシル顧客一賢	<u>た</u> 王	
Fのデシル値	Fのデシル顧客一賢	<u>た</u> 王	
Mのデシル値	Mのデシル顧客一賢	<u></u>	

RFM顧客一覧については、下記が選択されている場合

▼ グループ履歴 履歴間隔(ヵ月) 1 ▼

グループ履歴が出力されます。 グループ履歴については次ページをご覧ください。 なお、この場合グループ履歴のグラフも出力されます。

曜日フィルタ

▶ 曜日フィルターを指定する

にチェックを入れると指定した曜日のデータだけを対象とします。 例えば週末だけのいいお客様を見つけ出す場合は 土 日 の曜日を指定します。

指定日フィルタ

▶ 指定日フィルターを指定する

にチェックを入れると指定した日のデータだけを対象とします。 例えば月末だけのいいお客様を見つけ出す場合は 30 や 31 の日を指定します。

※グループ履歴について

RFM分析では、基準日(全ての購買情報で一番最近の購買日 通常は前日とかになる)にて分析 を行います。この基準日を自動的に過去にづらす事により、過去のお客様の購買状況をさかのぼって 見ることができます。 例えばRFM頭索一覧では

例えばRFM顧客一覧では

2009 2009 2009 2009 2009 2009 2009 2010 2010 2010 2010 2010 RFM值 ク ` 07/23 08/23 09/23 10/23 11/23 12/23 01/23 03/23 06/2302/2304/2305/23ルー X:111 C:521 C:521 C:532 C:532 C:532 C:532 C:532 B:533 B:533 B:533 B:533 534 基準日を 2010/06/23 としますと、基準日時点ではランクAのいいお客様です。 1月づつ遡って見ると、順調にこの1年程度でランクが上がっています。 このようなお客様は今後もいいお客様である可能性が高いので、大事にフォローする必要があります。

X:111 C:522 C:522 C:522 X:122 C:532 C:532 B:533 E:133 E:133 E:133 B:533 534 このようなお客様は、基準日現在ではランクAのいいお客様ですが、過去は来店がすくなく、 過去の購買金額等の情報で上のランクにきていると思われます。 最近また来店いただいているようなので積極的にアプローチする必要があります。

X:111 C:521 C:522 B:533 B:533 B:533 A:534 A:534 A:544 A:544 A:544 B:444 344 このお客様は、基準日現在ではランクBですが、2ヵ月以前はよく来ていてくれるお客様です。 何らかの理由で足が遠のいています。エベント案内等で来店を促す工夫が必要と思われます。



В

また、グループ履歴のグラフでも傾向を見ることができます。

※購買日について

下記場合は、2001/01/01 として計算されます。 ①2001/01/01 前の日付け 例)1998/03/02 ②空白等不正な日付けの場合 なお、顧客情報を使用する場合で、購買情報に対応するデータがない場合は RFM顧客一覧には最終購買日が2001/01/01として表示されます。

RFM分析:(分析結果ブック名の指定)

Ozsystem RFM分析Pro (BUNV0401) V4.00		
💷 いいお客様分析(分析結果ブッ	ク名の指定)	RFM分析
	ラメータ指定 > 出力選択 >)	<u>ブック名の指定</u>
-分析結果Excelブック名(フォルダを指定しない場合はマイドキュメント	に作成されます)	
		「ルから設定」 F9: 参照
い¥Users¥ozcr7¥Documents¥サンブル_HBU分析結果・xls		
□ 顧客一覧をCSV形式で出力(上記指定ブック名」顧客一覧.CSVとい	いうファイルになります。)	
□ 連動データををCSV形式で出力(上記指定ブック名_デシル連動.0	ここVというファイルになりま	(す。)
□ 顧客一覧でのグループの色分けを行わず処理速度を高速化する		
□ キーアンマッチチェックリストを出力しない。		
□ 金額0円以下チェックリストを出力しない。		
anna 19 mar 19 mars	パラメータ	肉の保存
ESC:前画面へ		F12:次へ
2017/01/04 15:42		

※分析結果はここで指定した名前のExcelブックとして生成されます。

※パラメータの保存で、パラメータを保存することをおすすめします。

□ 顧客一覧をCSV形式で出力(上記指定ブック名 顧客一覧.CSVというファイルになります。)

にチェックを入れるとrfm分析顧客一覧はcsv形式となります。 Excelブックで保存するよりもかなり高速に処理ができます。

□ 顧客一覧でのグループの色分けを行わず処理速度を高速化する

にチェックを入れるとrfm分析顧客一覧でグループの色付けは行われません。 その分高速に処理ができます。

F キーアンマッチ、金額0円以下チェックリストを出力しない。

にチェックを入れると金額0円またはマイナスのデーター覧が出力されます。

※F12:次へをクリックすると分析が始まり、終了するとExcelブックが表示されます。 注意:Excle2007以上の設定で、

オプション --> 保存 --> ファイルの保存形式 --> Excel 97-2003 ブック(*.xls) と設定している場合は、顧客一覧の最大行数は65536行となります。

※ワンポイント

最近使ったファイルから設定で、使用履歴から選択する事ができます。

参考:RFM分析とは

分析という言葉はちょっと難しそうに聞こえるかもしれませんが、 「いいお客様を見つける」方法と言い換えると分かり易いかも知れません。 いいお客様の定義はいろいろでしょうが、ここでは最近買ってくれたお客様・よく買ってくれるお客様 ・たくさん買ってくれるお客様を「いいお客様」と考えます。

RFM分析は、過去のお客様の購買情報(いつ、いくらのものを買ってくれたかの情報)から、「いいお客様」を見分けるための方法です。 また、各お客様の現在の状態を知って、お店が適切な行動を行う手助けを行います。

例えば、

購買頻度も多く、直近に来店もしているお客様。 このようなお客様には、特典付き特売セール案内などでよりお店の姿勢をアピールすべきです。 また、前はよく来てくれたが、何らかの理由で店に不満を感じ、足が遠のいているお客様 このようなお客様には、イベント案内等で、再度の来店を促す必要があります。

用語の準備

では、どのようにRFM分析を行うのでしょうか。その前に用語の準備です。

◎ R、F、Mのそれぞれの意味は
 R Recency (リセンシィー)・・・・最終来店日(直近の購入日)
 F Frequency (フリクエンシィー)・・利用回数
 M Monetary(マネタリィー)・・・・購入金額

R F M分析では、R、F、Mを5段階(ランク)に分けたとえば
R:購買日
ランク5:30日以内に来てくれたお客様
ランク4:31日から60日以内に来てくれたお客様
ランク3:61日から90日以内に来てくれたお客様
ランク2:91日から180日以内に来てくれたお客様
ランク1:181日以上前に来てくれたお客様
のように考えます。

例)

	ランク5	ランク4	ランク3	ランク2	ランク1
R	30	60	90	180	←日超
F	50	30	10	2	←回未満
М	1,000	500	200	100	←千円未満

◎グループ

Rが最高の5であっても、Fが1、Mも1 つまり511のお客様がいいお客様か どうかはわかりませんので、グループ分けを行います。 グループA:最近もよく来てたくさん買ってくれるお客様

グループE:最近来ていなくて、前もあまり来ていず、少量しか買っていないお客様

例)

グループ	Α	В	С	D	Е

1.0	F5	F4	F3	F2	F 1
M5	555	545	535	525	515
₩4	554	544	534	524	514
MЗ	553	543	533	523	513
M2	552	542	532	522	512
M 1	551	541	531	521	511

必要なデータは、お客様の購買情報(いつ、いくらのものを買ってくれたかの情報)です。 データは

- ・顧客情報:お客様が特定できるような情報 お名前(これはお客様を特定するために必須の情報です) 住所等(DM発送時は必須ですが、メールのみでを使う場合はなくてもOK) メールアドレス(メールを発信しない場合はなくてもOK) その他
- ・購買情報:購入日・購入金額の履歴 購買日

購入金額

これらの情報は2つに分かれていても、1ファイルになっていてもかまいません。

2つに分かれている場合は、結びつけるための情報(たとえば会員番号等)が必要です。

分析の準備

①ランク範囲の設定

RFM分析では、R、F、Mを5段階(ランク)に分けて考えますのでランク範囲を設定します。 たとえば前ページで記述したように R:購買日 の範囲設定を行い、同じようにF、M のランク範囲も設定します。

このランク値の設定が重要ですので、何回か値を変えて分析を行い、あなたのお店に合うランク範囲を見つけてください。

RFMそれぞれの最大値は5であるので、

最高のお客様は 555

あまりよくないお客様は 111

となります。

何回かの分析から、最適な設定値を見つけ、以降は同じ設定値をお使いください。

②グループ分けの設定

Rが最高の5であっても、Fが1、Mも1 つまり511のお客様がいいお客様かどうかはわかりませんので、グループ分けを行います。

グループA:最近もよく来てたくさん買ってくれるお客様

グループE:最近来ていなくて、前もあまり来ていず、少量しか買っていないお客様 例えば RFM値が5555のお客様はグループAという風に設定します。 何回かの分析から、最適な設定値を見つけ、以降は同じ設定値をお使いください。

アクション

RFM分析を行います。

しかし、RFM分析を行っただけでは、単なる自己満足でしかありません。

分析結果からアクションにかけることのできる予算・時間を考え、グループ毎に適切なアクションを行い ます。

・DMの発送をするのなら経費を最小にするためにグループAの方々のみに絞る

・又は、グループCのお客様を対象に掘り起こしを行う等

アクション結果の反映

何日かあとに、アクション結果からアクションの見直しが必要です。

例えば、

メールを6月1日に送信した場合、次の日から1週間程度の売り上げ推移を

見て、メールの有効性を確認します。

売り上げが変わらないようならば、メールが読まれていないか、本文内容が適切でない場合が考え られ ます。

対策としては、メールのタイトルや本文にお客様のお名前を入れるとような工夫をします。



Ozsystem RFM分析Pro (BUNM0101) V6.0 印印 アヨカイ分析	00	In the second second second	Ozsystem RFM5	分析Pro (BUNV0101)
・いいお客様Pr	*O 分析処理 デシル分析 RFM分析 作動学経過で分析ます。 ABC分析 目ましたま	DM印刷 DM準備 DM印刷	■	いいお客様分析(データ形式の指定) デシル分析
	CPM分析			● 新規にパラメータを設定して分析を行う
Zec:前面面	補助処理(MDB,CSV要理) 補助処理メニュー	保守 発作でキニュアルの表示 新たいでも少ながいまったものが やいフルは力見本 いな力度 ユーザ登録 お問い合わせ	- 77	 ○ 前に分析したパラメータを修正しながら分析する パラメータファイル読込 ○ 直前のパラメータのまま ○ 直前のパラメータのままで、出力選択画面へ直行 タの形式の指定 ○ 外部データは、Excelブック(xls) ○ 外部データは、csvデータ(csv) ○ 外部データは、Accessデータ(mdb/accdb)
			サン ESC:メニュ・ 2013/05/10	プルデータにて試用 直前の実行結果を表示 ~~ F12:実 1355

デシル:分析とは

デシル分析とは、お客様を購入金額の高い順に10(デシル)等分してその構成比を 算出する分析方法です。売上の上位集中度の観点から、お客様の全体概況を把握する 手法です。対売上高貢献度の高い優良お客様を知ることができるなど、現状把握に有 効で、分析も簡便であることからお客様分析の第1ステップであると考えられていま す。

より詳しくお客様分析を行う場合はRFM分析を利用してください。

※新規/修正部分を選択します。

※データ形式の指定を選択します。

いいお客様 P r o は、Excel2000以上のエクセルブックまたはCSV形式のファイル、 Access MDB型式及びAccess accdb形式をサポートしています。

※F12:実行をクリックして処理を進めます。 ※ワンポイント

パラメータファイル読込で保存したパラメータを読み込むことができます。

直前の実行結果を表示 前回の結果をexcelを起動して表示します。

サンプルデータにて試用

で内蔵しているサンプルデータを使用できます。 各種パラメータも自動設定されますので 最初はこの機能で体験してください。

サンプルデータの形式は、3種類を用意していますので、該当のデータをお使いください。

mv0102)					
サンプルデータの形式を指定して、F12:次へをグリックしてください。 の 外部データは (acoデクタ(xds) つ 外部データは (acoデータ(sov) へ 外部データは、Accessデータ(mib)					
外部データが、Excelブック(xls)の場合					
 マイドキュン・人ご下記2つのファイルが作成されます。 サンフル 基等情報よは シンブル 規算情報点は 2、サンフルテーク規のパウスータが次面面以換えば設され そのまま次へをグリックルマルを処理を通めてくたさい。 パラスータ画面最後の分析結果のファイル名はマイドキュ サンプルク分析結果よは 	ています。 メントの下記ファイル名になっています。				
外部データが、CSVデータ(csv)の場合					
 マイドキュシードに下記2つのファイルが作成されます。 ウンブル 薬管情報になり、ウンブル、購賞情報になり、 ウンブル・シータ周いづきレク地がな面面に発起されたが でのままか、そのりのしていき処理を進めてください。 パウメータ画面最後の分替結果のファイル名はマイドキュ ウンブル、分替結果CSV-aia 	ています。 メントの下記ファイル名になっています。				
外部データが、Accessデータ(mdb)の場合					
 マイドキュシードに下記ファイルが作成されます。 サンプル 夏季へ回移 サンプル ラータ用のパラメータが次面面以降に設定され そのまま次へをかりかしていき処理を進めてください。 パラメータ面面最後の分析量メのファイル名はマイドキュ サンプル。分析量本四のあいま 	ています。 メントの下記ファイル名になっています。				
RSCHIL	F12:次へ				

デシル分析:(外部ファイル名の指定)

Ozsystem RFM分标	fiPro (BUNV0111)						
💷 いいお客様分析(外部ファイル名の指定) デ							
「購買金額の	存在場所—————	and a second					
○ 購買金額	貢は顧客情報にある	○ 購買金額は購買情報にある					
┌外部データ	1(顧客情報)						
分析を行い	たいデータを指定します。(顧客情	報)最近使ったファイルから話	设定 F9:参照				
C:¥Users	€ozcr7¥Documents¥サンプル_顧答	評情幸€.XLS					
外部データ	2(購買情報)						
購買情報が	「別ファイル又は別シートにある場合	るに指定。顧客情報に購買情報がある場合は不要					
			22 F8:参照				
C:¥Users	fozcr7¥Documents¥サンプル_購買	對作青幸使.XLS					
			1				
ESC:前画面·			F12:次へ				
2013/05/10	13:55						

顧客情報:お客様の属性(お客様番号・お名前・住所等)のデータ 購買情報:お客様の購買の記録

1つのファイルに顧客情報と購買情報がある場合は 購買金額は顧客情報にあるを選択してください。

2つのファイルに顧客情報と購買情報が分かれている場合は 購買金額は購買情報にあるを選択してください。 ・外部データがExcelブックで、1つのブックに顧客情報のシートと購買情報のシートがある ・外部データがAccess MDBで、1つのファイルに顧客情報のテーブルと購買情報のテーブルがある 場合も

購買金額は購買情報にあるを選択してください。

デシル分析:(対象シートの指定: Excelデータの場合)

Ozsystem RFM分析Pro (BUNV0121) V4.30						
		いいお客様分	←析(対象シー	-トの指定)	デシル	分析
	外部ファイル名の	の指定 > <u>対象シート(</u>	<u>の指定</u> > フィール	ドの指定 > 出力選択	> ブック名の指定 >	
_「 外部デー:	91(顧客情報)——					
C:¥Users¥e	ozcr7¥Documents¥サ;	ンプル_顧客情報.X	LSX			
対	象シート 🛛 🚼	3客様情報				
▶ 先頭行を	タイトル行として扱う タイトル行数 1 -					
+-1		住所1	住所2	住所3	メールアドレス	累計購買額へ
0000001 0000002 0000003 0000004 0000005 0000006 0000006 0000007 0000007 0000007 0000007 0000007 000000	5770824 5770824	住所1 住所1 住所1 住所1 住所1 住所1 住所1 住所1 住所1 住所1	住所2 住所2 住所2 住所2 住所2 住所2 住所2 住所2 住所2 住所2	住所3 住所3 住所3 住所3 住所3 住所3 住所3 住所3	test@ozsystem.jp test@ozsystem.jp test@ozsystem.jp test@ozsystem.jp test@ozsystem.jp test@ozsystem.jp test@ozsystem.jp	262406 10504 238782 822834 635219 552092 355575 725625
:	タイトル行数 1 💌					
*-1	商品コード	購買日	購買額			^
0000001 0000001 0000001 0000001 0000001 000000	B00118 D00312 A00074 E00445 D00354 C00245 C00290 A00092 C00279	2012/04/13 2012/05/14 2012/11/28 2012/05/29 2012/11/11 2013/03/18 2013/03/10 2013/02/05 2012/09/09	3326 24781 9872 16174 24758 6262 15588 19106 14541			~
ESC:前画面へ F12:次へ						

※顧客情報、購買情報の対象データがあるシート名を指定してください。

※データの1行目がタイトルの場合は、先頭行をタイトル名として扱うにチェックを入れてください。 タイトル行が複数行の場合はその行数を指定します。 例えば3とすると、データの先頭3行は無視して分析します。

デシル分析:(対象シートの指定:CSVデータの場合)

Ozsystem RFM分析	Pro (BUNV0131) V4	1.30				
		いいお客様:	分析(先頭行	の指定)	デシル	レ分析
	外部ファー	イル名の指定 > <u>先頭行の</u>	<u>の指定</u> > フィール	ドの指定 > 出力選択	> ブック名の指定 >	
┌外部データ1	(顧客情報)——					
C:¥Users¥ozo	cr7¥Documents¥	サンプル」顧客情報	₹.csv			
_ ┏ 先頭行をタ	*イトル行として扱	5 <u>7</u> タイトルイ	亍数 1 ▪			
+-1	郵便番号	住所1	住所2	住所3	メールアドレス	累計購買額。
0000001	5770824 5770824	住所1 住所1	住所2 住所2	住所3 住所3	test@ozsystem.jp test@ozsystem.jn	262406
0000003	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem.jp	238782
0000004	5770824	住所1 分前1	住所2 分部2	住所3 分析2	test@ozsystem.jp test@ozsystem.jp	822834
0000006	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem.jp	552092
0000007	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem.jp	355575
0000008	5770824 5770824	111月11 住所1	15.072 住所2	11年1月13 住所3	test@ozsystem.jp test@ozsystem.jp	188692
0000010	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem.jp	744573 🗸
<						>
外部データ2	(購買情報)——					
C:¥Users¥ozo	cr7¥Documents¥	サンプル」購買情報	đ.csv			
☑ 先頭行をタ	マイトル行として扱	む タイトル	行数 1 💽			
半一1	商品コード	購買日	購買額			^
0000001	B00118 D00312	2012/04/13 2012/05/14	3326 24781			
0000001	A00074	2012/03/14	9872			
0000001	E00445	2012/05/29	16174			
0000001	C00245	2012/11/11 2013/03/18	24758 6262			
0000001	C00290	2013/03/10	15588			
0000001	A00092	2013/02/05	19106 14541			
0000001	C00208	2013/02/20	9943			
0000001	D00343 D00313	2012/11/01 2012/06/09	9388 9331			~
ESC:前画面へ F12:次へ						

※データの1行目がタイトルの場合は、先頭行をタイトル名として扱うにチェックを入れてください。 タイトル行が複数行の場合はその行数を指定します。 例えば3とすると、データの先頭3行は無視して分析します。

デシル分析:(対象シートの指定:Accessデータの場合)



※顧客情報、購買情報の対象データがあるテーブル名を指定してください。

デシル分析:(フィールドの指定)

Ozsystem RFM分析Pro (BUNV0201) V2.60						
		いいお客様分	}析(フィー)	ルドの指定)	デシ	/ル分析
	外部ファイ	′ル名の指定 > 対象シート	の指定 > <u>フィー</u>	<u>ルドの指定</u> > 出力選	択 > ブック名の指定 >	
_「 キーの指定(お	客様が一意に	特定できるキーの指	定) ———			
サンプル・顧客情	報.XLS (お客様	情報)	サン ウン	ンプル」購買情報.XLS((購買履歴)	
平-1			<u> </u>	1		<u> </u>
			<u> </u>			-
			- =			-
┌購買金額フィー	ールドの指定-					
C:¥Users¥ozcr	7¥Documents	¥サンプル_購買情報.X	LS(購買履歴))		
 金額指定 	○ 単価×	数量指定				
購買額			<u> </u>			_
□ 購買情報	にキーのある雇	顧客情報のみを対象と	する。			
ギー1	郵便番号	住所1	住所2	住所3	メールアドレス	累計購 🔺
0000001	5770824 5770824	住所1 住所1	住所2 住所2	住所3 住所3	test@ozsystem.jp test@ozsystem_in) 262401 ← 10504 〒1
0000003	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem.jr	23878: 索
0000004	5770824	住所1 住所1	住所2 住部2	住所3 住所3	test@ozsystem.jp test@ozsystem.jp	82283 T
0000006	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem.jp	55209:- 委
1 C C C C C C C C C C C C C C C C C C C			7.7F.6	7.7FA		
+-1	+-2	購買日	購買額			A
0000001	0001	2012/04/13	3326			
0000001	0002	2012/03/14	9872			一次
0000001	0004	2012/05/29	16174			1 Sel
0000001	0005	2012/11/11	24758			表
0000001	0006	2013/03/18 2013/03/10	0202 15588			示
0000001		1010/00/10	10102			T
ESC:前画面~						F12:次へ
2014/11/14	10:55					

※お客様を特定できるキーのフィールドを指定してください。

※顧客情報、購買情報が分かれている場合は、 結びつけができるようキーの指定をしてください。

※データ上の購買金額が

金額として記録されているか、単価×数量という形で記録されているかを選択してください。

※購買日を指定してください。

※F12:次へをクリックして処理を進めます。

\leftarrow	をクリックすると、
別窓	🕢 表示 🛛 💌
で表	テキスト形式で表示(高速)
示	Excelで表示

が表示されます。

各ボタンでデータ内容がすべて表示されます。

▶ 購買情報にキーのある顧客情報のみを対象とする。

にチェックを入れると 購買データにない、顧客情報は無視し、購買データのある顧客のみで分析を行い 購買のあったお客様に対してのみ金額を10等分して分析します。

チェックを入れない場合

デシル 値	購買額合計	売上割 合(%)	累積割合 (%)	累積データ数
1	9,406,108	74.2%	74.2%	3,743
2	2,277,231	18.0%	92.2%	7,486
3	988,915	7.8%	100.0%	11,229
4	0	0.0%	100.0%	14,972
5	0	0.0%	100.0%	18,715
6	0	0.0%	100.0%	22,458
7	0	0.0%	100.0%	26,201
8	0	0.0%	100.0%	29,944
9	0	0.0%	100.0%	33,687
10	0	0.0%	100.0%	37,433
	10670054	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		



購買情報のないお客様も含めて10等分する。 お買い上げのないお客様を分析するにはこの方法が有効。 ただし、あまりに購買情報のないお客様が多い場合は 偏った分析となる.。

チェックを入れた場合



購買情報のないお客様は除いて10等分する。

お買い上げのあるお客様だけを分析するにはこの方法 が有効。

ただし、購買情報のないお客様に対しての分析はできない。

Ozsystem RFM分析Pro (BUNV0301) V4.00		
۵. (V)	いお客様分析(出力選択)	デシル分析
外部ファイル名の指定>	対象シートの指定 > フィールドの指定 > <u>出力選択</u> > ブック名の	/指定 >
 □ 分析値 ○ 分析値 ○ グラフの種類(右) ○ 種類1 ○ 種類2 ○ 種類3 ○ 種類1 ○ 種類5 ○ 種類6 ○ デシル酸客一覧 ○ デシル分析顧客一覧の出力順序/グループー 出力するデシルグループ 累計購買額 全チェック 全解除 上位10%以内 ▽ デシル1データ 11%~20% ▽ デシル2データ 21%~30% ▽ デシル3データ 	- デシル分析顧客一覧の出力項目 外部データ1 (顧客情報) ▲指定 指定 解除 全解除 全解除 全解除 全解除 全部できます。	<u>出力指定済み項目</u> キー1 郵便番号 住所1 住所2 住所3 メールアドレス 累計利用回数 最終来店日
31%~40% マデシル4データ 41%~50% マデシル5データ 51%~60% マデシル6データ 61%~70% マデシル7データ 71%~80% マデシル8データ 81%~90% マデシル9データ 91%~ マデシル10データ	 ▶ 連動用データ 連動用データは、次画面で指定する指定 連動用データ指定 □ デシル1データ □ デシル5データ □ デシ □ デシル2データ □ デシル6データ □ デシ □ デシル3データ □ デシル7データ □ デシル4データ □ デシル8データ 	ブック名 _. デシル連動というファイルになります。 ル9データ 全指定 ル10データ 全解除
ESC:前画面へ		F12:次へ

出力物は、下記のものがあります。(内容は見本を参照してください) デシル値

デシル顧客一覧

デシル分析:(分析結果ブック名の指定)

Ozsystem RFM分析Pro (BUNV0401) V4.00	
🗐 いいお客様分析(分析結果	果ブック名の指定) デシル分析
ーーーーー 外部ファイル名の指定 > 対象シートの指定 > フィール	ドの指定 > 出力選択 > <u>ブック名の指定</u> >
−分析結果Excelブック名(フォルタを指定しない場合はマイドキュ 	とメントに作成されます)
[[··¥]]aona¥onon7¥Doonmonta¥社ンプル、▲PC分拍結果 ula	
□ 顧客一覧をCSV形式で出力(上記指定ブック名」顧客一覧(CSVというファイルになります。)
□ 連動データををCSV形式で出力(上記指定ブック名_デシル 	連動.CSVというファイルになります。)
「ロキーマンマッチチーックロードを出力」ない。	
□ キモノンマックラエックリストを出力しない。 □ 今鐘の田田玉毛ュックリットを出力しない。	
□ 玉額0円以下チェックリス№を出力しな∨。	
	パラメータの保存
l	
ESC:前画面へ	F12:次へ
2017/01/05 9:14	

※分析結果はここで指定した名前のExcelブックとして生成されます。 ※パラメータの保存で、パラメータを保存することをおすすめします。

□ 顧客一覧をCSV形式で出力(上記指定ブック名 顧客一覧.CSVというファイルになります。)

にチェックを入れるとrfm分析顧客一覧はcsv形式となります。 Excelブックで保存するよりもかなり高速に処理ができます。

□ キーアンマッチ、金額0円以下チェックリストを出力しない。

にチェックを入れると金額0円またはマイナスのデーター覧が出力されます。

※ワンポイント

最近使ったファイルから設定 で、使用履歴から選択する事ができます。

※F12:次へをクリックすると分析が始まり、終了するとExcelブックが表示されます。 注意:Excle2007以上の設定で、

オプション --> 保存 --> ファイルの保存形式 --> Excel 97-2003 ブック(*.xls) と設定している場合は、顧客一覧の最大行数は65536行となります。
ABC分析 Ozsystem RFM分析Pro (BUNV0101) V4.00 いいお客様Pro M いいお客様分析(データ形式の指定 ABC分析 DM印刷 分析処理 デシル分析 RFM分析 第5学学課題、PS就課9 ABC分析 引き上げ率 RF.RM.FM分析は、バラメータで指定して分析します。 DM準備 DM印刷 新規/修正 • 新規にパラメータを設定して分析を行う M分析 ○ 前に分析したパラメータを修正しながら分析する パラメータファイル読込 *** び 操作でニュアンルの表示 動きでニュアルを通知された。Action materのドレクロロンはActes Action materのドレクロロンはActes Action サンプル出力見本 いい彩客検知rokとついて ユーザ登録 お問い合わせ 補助処理メニュー ○ 直前のパラメータのまま ○ 直前のパラメータのままで、出力選択画面へ直行 B データの形式の指定 • 外部データは、Excelブック(xls) ○ 外部データは、csvデータ(csv) ○ 外部データは、Accessデータ(mdb/accdb) サンプルデータにて試用 直前の実行結果を表示 ESC:メニューヘ F12:実 行

ABC:分析とは

ABC分析とは、商品等を売上高などの項目によって分類する方法です。 例えば、売上高の順に取扱商品を並べ、上位から

2017/01/05

ランク	売上高の割合
А	70%
В	20%
С	1 0 %

のように分類します。

そして、ランクAに分類された商品は、発注、在庫、販売などにおいて重点的に管理され、 逆にランクCの商品は簡易な管理で良いということになります。 売上高以外にも、売上総利益や販売個数等でも同様な事がに考えられます。 ABC分析は商品管理ですが、RFM分析と連動することにより、 よく売れる商品をよく買ってくれるいいお客様というふうに、お客様分析にも使用できます。

※新規/修正部分を選択します。

※データ形式の指定を選択します。

いいお客様 P r o は、Excel2000以上のエクセルブックまたはCSV形式のファイル、 Access MDB型式及びAccess accdb形式をサポートしています。

※F12:実行をクリックして処理を進めます。 ※ワンポイント

パラメータファイル読込で保存したパラメータを読み込むことができます。

直前の実行結果を表示 前回の結果をexcelを起動して表示します。

最初はこの機能で体験してください。

サンプルデータにて試用 で内蔵しているサンプルデータを使用できます。 各種パラメータも自動設定されますので

サンプルデータの形式は、3種類を用意していますので、該当のデータをお使いください。

JNV0102)	
 サンプルデータの形式を指定して、P12:次へをクリックしてください。 ● 外部テータは、Exec(Jブッグ(ds)) ○ 外部データは、caryデータ(csr) ○ 外部データは、Accessデータ(mdb)) 	
外部データが、Excelブッグ(xls)の場合	
 マイホキュントに下記シックファイルが作数なます。 サンブル 蒸ぎ料金1 サンブル 夏雪(新生)。 サンブルデーが用のパワシーカが次面回(旅ど)が定めれています。 そのまだかっなりかったいで必要定を知っています。 パワシーク画画美術のの分析結果のファイル名はマイドキュントの下記ファイルキ サンブルーク編集者のの分析結果のファイル名はマイドキュントの下記ファイルキ 	もになっています。
クレンガリetrestis 外部データが、CSVデータ(con)の場合	
 マイボキュシトに下記2つのファイルが作該されます。 ウンプル「直常情報におった」の「現実情報におっ とりつアルテーショル」のいたわしない意識にはないされています。 そのま式かっそかりたりでの発現要を通めてください。 パウムータ加速要換金の分析編集のファイル名はマイボキュントの下記ファイルイ ウンプル。多新編集のSTA18 	もになっています。
外部データが、Accessデータ(mib)の場合	
 マイドキュペートに下記ファイルが作成されます。 サンプル 顕著-MDB 	
 サンプルデータ用のパラメータが次面面以降に設定されています。 そのまま次へをクリッグしていき処理を進めてください。 	
 パラメータ画面最後の分析結果のファイル名はマイドキュメントの下記ファイルキ サンプル 分析結果MDB.xls 	らになっています。
ESC-thil-	E12-00-0

ABC分析:(外部ファイル名の指定)

□ いいお客様分析(外部ファイル名の指定) ABC分析	
<u>外部ファイル名の指定</u> > 対象シートの指定 > フィールドの指定 > ランクの指定 > 出力選択 > ブック名の指定	
「商品情報の使用	
○ 商品情報を使用しない ● 商品情報を使用する	
外部データ1(商品情報)	-
商品名称や原価等を使用したい場合に指定します。	<u> </u>
C:¥Users¥ozcr7¥Documents¥サンプル_商品情報データABC.XLS	
_外部データ2 (購買情報)	
購買情報を指定します。	_
	<u>R</u>
C:¥Users¥ozcr7¥Documents¥サンプル_購買データABC.XLS	
ESC:前画面へ F12:次	\sim
2017/01/05 9:45	

商品情報:商品の属性(商品番号・商品名等)のデータ 購買情報:商品の購買の記録

商品情報は、

・購買額を商品情報の原価×購買情報数量とする ・購買情報に商品名がなく、商品名を出力したい 場合に指定します。

商品情報を使用する場合は、商品情報を使用するを選択して下さい。

ABC分析: (対象シートの指定: E x c e 1 データの場合)

Ozsystem RFM分	析Pro (BUNA0121) V4.3	80				
		いいお客様分	▶析(対象シー	トの指定)	ABC分析	
	外部ファイル名の指定	2 > <u>対象シートの指定</u>	2 > フィールドの指注	起 > ランクの指定 > 出た	カ選択 > ブック名の指定	
_「 外部データ」	1(商品情報)———					
C:¥Users¥oz	cr7¥Documents¥サ、	ンプル_商品情報デ	ータABC.XLSX			
対象	ミシート 👔	品情報データ				
▶ 先頭行をタイ	いれたとして扱う					
タイ	小ル行数 1 🚽					
商品コード	商品名	単価	原価			^
AUUUU1 A00002	商品名A00001 商品名A00002	4389 2208	3292 1656			
A00003	商品名A00003	3901	2926			
A00004 A00005	商品名A00004	3787	2840			
A00006 A00007	商品名A00006 商品名A00007	4166 3817	3124 2863			
A00008	商品名A00008	4687	3515			
TAIIIIII9 - 外部データ2	商品名A00009 (膳智情報)	11147	785			
C:¥Users¥oz	cr7¥Documents¥サ)	ンプル 購買データ	ABC.XLSX			
行会	197 h 🔢	皆甲データ				
□ 先頭行をタイ	いれ行をして扱う	4 5×1 / /				
タイ	小ル行数 1 🚽					
商品コード	顧客コード	購買日	購買数量	購買額		^
E00412 D00302	0000068	2011/07/05 2012/09/08	1	5360 18256		
C00233	0000408	2012/06/18	10	29100		
E00445 E00434	0000197 0000407	2013/03/01 2012/10/15	5 7	26060 17640		
B00121	0000296	2013/05/01	4	4220		
D00315	0000038	2013/02/09 2011/11/03	ر 6	29404 8256		
1 B00121	0000485	2012/05/09	8	8440		×
ESC:前面	面へ				F12:次	\sim
2017/06/09	7:52					

※商品情報、購買情報の対象データがあるシート名を指定してください。

※データの1行目がタイトルの場合は、先頭行をタイトル名として扱うにチェックを入れてください。 タイトル行が複数行の場合はその行数を指定します。 例えば3とすると、データの先頭3行は無視して分析します。

ABC分析: (対象シートの指定: C S V データの場合)

Ozsystem RFM分析	Pro (BUNA0131) V4.30					
		いいお客様分	→析(先頭行の)指定)	ABC分析	
	外部ファイル名の指	定 > <u>先頭行の指定</u>	> フィールドの指定	> ランクの指定 > 出た	力選択 > ブック名の指定	
┌外部データ1(商品情報)					
C:¥Users¥ozcr	7¥Documents¥サン	ノプル_商品情報	データABC.csv			
☑ 先頭行をター	イトル行として扱う	タイトル行数	₹ 1 •			
商品コード	商品名	単価	原価			^
A00001	商品名A00001 英国名A00002	4389	3292			
A00002	商品名A00002	2208 3901	2926			
A00004	商品名A00004	5564	4173			
A00005	商品名A00005	3787	2840			
A00006	商品名A00006	4166	3124			
A00007	商品名AUUUU7 金月夕A00009	3817 ACOT	2863			
A00008	商品名400008	1047	785			
A00010	商品名A00010	4746	3560			
A00011	商品名A00011	1249	937			~
		1109	012			
- 外部テータ20	購買「育報」					
C:¥Users¥ozci	? ¥Documents ¥ サン	/プル_購買データ	∜ABC.csv			
☑ 先頭行をタ	イトル行として扱う	タイトル行教	数 1 🗸			
商品コード	顧客コード	購買日	購買数量	購買額		^
E00412	0000068	2011/07/05	1	5360		
D00302	0000355	2012/09/08	8 10	18256		
E00233	0000408	2012/06/18 2013/03/01	10 5	25100		
E00434	0000407	2012/10/15	7	17640		
B00121	0000296	2013/05/01	4	4220		
C00241	0000056	2013/02/09	7	29484		
D00315	0000247	2011/11/03	6	8256		
B00121	0000485	2012/05/09	8	844U 5206		
B00121	0000031	2012/03/14	3	3165		
1400016	0000393	2012/12/03	ī	5947		×
ROO. STORES					Date Met	
「120:前画面	\sim				F12:/X*	`
2017/06/09	7:52					

※データの1行目がタイトルの場合は、先頭行をタイトル名として扱うにチェックを入れてください。 タイトル行が複数行の場合はその行数を指定します。 例えば3とすると、データの先頭3行は無視して分析します。

ABC分析: (対象シートの指定: A c c e s s データの場合)

Ozsystem RFM分析Pro (BUNA0141) V4.00						
		いいお客様分	↑析(対象テ-	-ブルの指定)	ABC分析	
9	「部ファイル名の指定	> 対象テーブルの指	定 > フィールドの	指定 > ランクの指定 > パ	出力選択 > ブック名の指定	
┌外部データ1()	商品情報)———					
C:¥Users¥ozcr	7¥Documents¥サ	ンプル_ABC.MDI	3			
村象子,	ーブル 購買デー	 友				
/ 7886 /	商品情報	データ				
商品コード		単価	「「「「」」	1		
A00001	商品名A00001	5579	4184			
A00002	商品名A00002 商具名A00003	2076 3985	1557 2989			
A00004	商品名A00004	1249	937			
A00005	商品名A00005 商具名A00006	3918 2213	2938 1660			
A00007	商品名A00007	4365	3274			-
- 外部データ2()	講冒情報)					
C:¥Users¥ozcr	7¥Documents¥サ	ンプル ABC.MDI	3			
封御 亭。	_ブれ. 膳賀デー	 友				
∧138K/ -	商品情報	データ				
商品コード	顧客コード	膳買口	膳胃数量	膳胃麵		
D00318	0000326	2013/01/30	4	15364		-61
E00412	0000148	2013/07/06	3 9	5016 50292		
E00445	0000296	2012/03/22	9	33867		
D00302	0000160	2012/01/31	4	12528		-
ESC:前画面~	S				F12:次へ	· _]
2017/01/05	10:09					

※商品情報、購買情報の対象データがあるテーブル名を指定してください。

ABC分析:(フィールドの指定)

Ozsystem RFM分析	Pro (BUNA0201) V4.30					
		いいお安様	分析(フィー	ルドの指定)	AT	BC分析
_					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
- the start of	外部ファイル名の指定	こう 対象シートの指	電 > <u>フィールドの</u>	<u>)指定</u> > フンクの指定	> 出力選択 > フック4	日の指定
ーキーの指定(商	朝品が一意に特定で 朝島ジェクAPC VISV	できるキーの指定	<u></u>)	こうり 唯智二 こうさんやく	· VICV (唯智二、より)	
リンノル間部	¶¥Qブ ∽ ≫ADU.ALSA	間間間報のデージー	Ø.	ノノル」購買サビダADU 調査サムド	ALSA (購員デビダ)	
				100		
			_ =			
			<u> </u>			-
「購買額の指定					□ 商日ガル・-*	イセウォンシ
サンプル_購買	データABC.XLSX(購買データ)		n 155 /mt	商品がいっており	「推定を行う。
 ・ 金額(数重 	[)指定 ① 購買	"育報の設重×1	首正商品 有報()	り原1曲		已回田戎小
購買額			<u> </u>			<u> </u>
		□ 購買	額の有効範囲	を指定する	\sim	
商品名等の出	け項目の追加――					
商品名等のキ	ーで一意になる項目	目をABC商品ー!	覧に出力する場	合に指定します。		
□ 商品名等	を購買情報の項目	から得て出力す	る。			+
└ 」期間別ABC分	ヶ析パラメータ――					
期間別ABC分	析を出力する場合に	指定します。	購買日 購	閏日		-
商品コード	商品名	単価	原価			<u>^</u>
A00001 A00002	商品名A00001 商品名A00002	4389	3292 1656			別
A00003	商品名A00003	3901	2926			窓
A00004 A00005	商品名A00004 商品名A00005	5564 3787	4173 2840			でま
A00006	商品名A00006	4166	3124			し祭
AUUUU7 商品コンド		3817	2863	は田田方面		
E00412	0000068	2011/07/05	1	5360		→ ^ ~
D00302	0000355	2012/09/08 2012/06/18	8 10	18256 29100		一別
E00445	0000197	2013/03/01	5	26060		1 C
E00434 B00121	0000407 0000296	2012/10/15 2013/05/01	4	1764U 4220		表
C00241	000056	2013/02/09	7	29484		× <u>*</u>
ESC:前画面	~					F12:次へ
2017/05/26	13:59					

※商品を特定できるキーのフィールドを指定してください。

※商品情報、購買情報が分かれている場合は、 結びつけができるようキーの指定をしてください。

商品をグループに分けて分析する場合は 商品グループ指定を行う。 にチェックを入れて 商品グループ指定画面のボタンをクリックします。(次ページ参照)

※購買金額を、金額(数量)指定で行うか、数量×原価で行うかを指定します。

※商品情報を使用しない場合で、出力される一覧に商品名を出力したい場合は 商品名等の出力項目の追加でおこなえます。

※データの購買額を絞り込みたい場合は、購買額の有効範囲を指定するにチェック入れて 購買額の範囲を指定する事ができます。

※期間別のABC分析を出力する場合は、購買日を指定して下さい。

※F12:次へをクリックして処理を進めます。



が表示されます。

各ボタンでデータ内容がすべて表示されます。

Ozsystem RFM分析Pro (BUNA0203) V4.00	
🗊 いいお客様分析(商品	レープの指定) ABC分析
-グループを指定できるフィールド(前画面で指定したキーのフ サンプル商品情報データABC.XLS(商品情報データ)	マイールド)
グループの指定	テンプレート 上に詰める
有効商品コード	グループ名称
	野菜類 対象確認
B	魚類 対象確認
	肉類
	その他 対象確認
	対象確認
	対象確認
	対象確認
	対象確認
	対象確認
	対象確認
商品コード 商品名 単価 原価 A00001 商品名A00001 5579 4184 A00002 商品名A00002 2076 1557 A00003 商品名A00003 3985 2989 A00004 商品名A00004 1249 937 A00005 商品名A00005 3918 2938 A00006 商品名A00006 2213 1660 A00007 商品名A00007 4365 3274 A00008 商品名A00009 5352 4014 ESC:戻る 2017/01/11 1424 24	

商品をキーでグループ分けする場合に指定します。

?は全ての文字1桁を表します。 例えば下記のような商品コードがある場合 A00100X C00300Y A00100BBBX D00200D A00100B E00100WE E00100B 頭1桁がAの商品 ???1 4桁目が1の商品 ??????B 8桁目がBの商品 А A00100X A00100X A00100BBBX A00100BBBX A00100BBBX A00100B A00100B E00100WE

E00100B

となります。

※ワンポイント

右横の 対象確認 をクリックすると

下の枠に絞り込まれたデータが表示されます。

商品コード	商品名	単価	原価
A00001	商品名A00001	5579	4184
A00002	商品名A00002	2076	1557
A00003	商品名A00003	3985	2989
A00004	商品名A00004	1249	937
A00005	商品名A00005	3918	2938
A00006	商品名A00006	2213	1660
A00007	商品名A00007	4365	3274
A00008	商品名A00008	3981	2986
A0000		5353	4014

ABC分析:(ランクの指定)

Ozsystem RFM;	分析Pro (BUNA0221) V4.00	
	いいお客様分析(ランクの指定)	ABC分析
	外部ファイル名の指定 > 対象シートの指定 > フィールドの指定 > <u>ランクの指定</u> > 出力選択 > ブ	ック名の指定
「ランク範囲の	指定	
ランク数 🧧	▼ サンプル設定 テンプレート 100%に正規化	
		合計100%
A	[70%
B —	(I	20%
c —		10%
D		
E		
F		
G		
Н		
I		
J		
ESC:前面面	<u>ā</u> ~	F12:次へ
2017/01/06	9:44	

ABC分析で使用するランクの範囲を指定します。 例えば、売上高の順に取扱商品を並べ、上位から

売上高の割合
70%
2~0~%
10%

のように分類する場合は、上記画面のように指定します。

ランクは10まで設定する事ができます。

Ozsystem RFM分析Pro (BUNA0301) V4.30	
	いいお客様分析(出力選択) ABC分析
外部ファイル名の指定 > 対	f象シートの指定 > フィールドの指定 > ランクの指定 > <u>出力選択</u> > ブック名の指定
- 出力物の選択	「商品情報の出力項目
▼ ABC商品一覧	外部データ1(商品情報) 出力指定済み項目
 ✓ 期間別ABC分析 ○ 月単位 盤曜 ● 週単位 □ → 週分 ○ 週単位 □ □ □ ○ 曜日単位 ○ 四半期単位 	全指定 指定 解除 全綱除
┌グラフの種類(右)	マート でも指定/解
 ・種類1 ・種類2 ・種類3 ・種類4 「連動用データ ・運動用データは次画面で指定する指定ブック名、ABC運動というファイルになります。 ・運動用データは次画面で指定する指定ブック名、ABC運動というファイルになります。 ・運動用データは全期間となります。 ・運動用データ指定 「A 「B 「С 「D 「E 全指定」 	
	商品情報を使用する場合で、商品グループ指定を行わない場合に、ABC商品一覧に商品情報の情報を出力する事ができます。 商品情報を使用しない場合は指定できません。
ESC:前画面へ	F12.次へ
2017/06/05 6:50	

出力物は、下記のものがあります。(内容は見本を参照してください) ABC値商品一覧 期間別ABC分析 サマリー 連動用データ

連動データ設定

選択したABCランクのみのABC商品一覧とは別のファイルとして書き出します。 この書き出したファイルにてデシル分析・RFM分析を行う事により 例えば、売れ筋商品をかってくれるお客様のRFM分析も行う事ができます。

商品情報の出力項目

商品情報を使用する場合に、ABC商品一覧に指定した項目を追加して出力します。 但し、商品グループ指定を行っている場合及び商品情報を使用しない場合は、 指定する事ができません。

ABC分析:(分析結果ブック名の指定)

Ozsystem R	FM分析Pro (BUNA0401)	V4.00				
		いいお客様分	・析(分析結果ブ	ック名の指定)	AB	C分析
	外部ファイル名の指定	> 対象シートの指定	> フィールドの指定 >	ランクの指定 > 出力違	選択 > <u>ブック名</u>	の指定
┌分析結果	Excelブック名(フォル	ダを指定しない場	合はマイドキュメン	トに作成されます)・		
				最近使~	ったファイルか;	δ設定 ┣9:参照
C:¥Users	¥ozcr7¥Documents¥	サンプル_分析結	果ABC.×ls			
					• · · • •	
□ ABC商 □ 浦動デ	品一覧をCSV形式で したたCSV形式で	出力(上記指定フ 4カ(ト記指定づ	「ック名_ABC一覧.C …クタ ABC浦動 C	「SVというファイルに SVというファイルに	なります。) たいます)	
	>&&C2 \)>1(C)		ック石_ADC連動.C	3 1 2 1 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	よりま 9 。/	
				7	ペラメータの保	存
ESC:前	画面へ					F12:次へ
2017/01/0	06 10:32				,	

※分析結果はここで指定した名前のExcelブックとして生成されます。 ※パラメータの保存で、パラメータを保存することをおすすめします。

□ ABC商品一覧をCSV形式で出力(上記指定ブック名 ABC一覧.CSVというファイルになります。)

にチェックを入れるとABC分析商品一覧はcsv形式となります。 Excelブックで保存するよりもかなり高速に処理ができます。

□ 連動データををCSV形式で出力(上記指定ブック名_ABC連動.CSVというファイルになります。)

にチェックを入れると連動データはcsv形式となります。 Excelブックで保存するよりもかなり高速に処理ができます。

※ワンポイント

最近使ったファイルから設定 で、使用履歴から選択する事ができます。

※F12:次へをクリックすると分析が始まり、終了するとExcelブックが表示されます。 注意:Excle2007以上の設定で、

オプション --> 保存 --> ファイルの保存形式 --> Excel 97-2003 ブック(*.xls) と設定している場合は、顧客一覧の最大行数は65536行となります。

引き上げ率分析 Ozsystem RFM分析Pro (BUNV0101) V5.00 III いいお客様Pro M 引き上げ率 いいお客様分析(データ形式の指定) 分析処理 DM印刷 575724理 デシル分析 RFM分析 パシー外線、7961第9。 ABC分析 引き上げ率 DM準備 DM印刷 -新規/修正-○ 新規にパラメータを設定して分析を行う CPM分析 ○ 前に分析したパラメータを修正しながら分析する パラメータファイル読込 SHIM HILLION CO *** び 操作でニュアルの表示 開いてニッアルを表示においた。 Particle 2010年10月 かいわる中期でのとついて ユーザ登録 お問い合わせ 補助処理メニュ • 直前のパラメータのまま ○ 直前のパラメータのままで、出力選択画面へ直行 データの形式の指定 ß ● 外部データは、Excelブック(xls/xlsx) · 前面雨 ・外部データは、csvデータ(csv) ・外部データは、Accessデータ(mdb/accdb) サンプルデータにて試用 直前の実行結果を表示 ESC:X=2-~ F12:実 行

※新規/修正部分を選択します。※データ形式の指定を選択します。

いいお客様 P r o は、Excel2000以上のエクセルブックまたはCSV形式のファイル、 Access MDB型式及びAccess accdb形式をサポートしています。

2019/01/05 10:43

※F12:実行をクリックして処理を進めます。 ※ワンポイント

パラメータファイル読込で保存したパラメータを読み込むことができます。

直前の実行結果を表示 前回の結果をexcelを起動して表示します。

サンプルデータにて試用

で内蔵しているサンプルデータを使用できます。 各種パラメータも自動設定されますので 最初はこの機能で体験してください。

サンプルデータの形式は、3種類を用意していますので、該当のデータをお使いください。

引き上げ率:分析とは

引き上げ率とは、ある一定期間の間に購買のあり、ある時点で2回目の購買があった お客様の比率です。新規顧客が始めてリピートしてくれる割合という事もできます。

ある一定期間(前期間)の顧客がある月でどのようなお客様となったかを考えると 購買情報が次のような場合

4月	5 月	6月	7 月	8月	9月	10月	11月
1						1	
	2					2	2
	3	3				3	
4							
						5	5

ある一定期間(前期間) 6ヵ月 ある時点 10月 とすると

4月	5月	6月	7 月	8月	9月	10月	10月時点の属性
1						\bigcirc	引き上げ顧客
	2					2	引き上げ顧客
	3	3				3	リピート顧客
4							離脱顧客
						5	新規顧客

①の人 4月に購買があり(初回購買)10月に2回目の購買があった
 ②の人 5月に購買があり(初回購買)10月に2回目の購買があった
 ③の人 5月、6月に購買があり10月に3回目の購買があった
 ④の人 4月に購買があり(初回購買)10月になっても2回目の購買が無かった
 ⑤の人 4月から9月には購買がなく10月になって購買があった

となり、10月時点での引き上げ率は

引き上げ対象者 ①②④の3人

10月に2回目の購買があった人 ①②の2人

 $2 \div 3 = 6 7 \%$ となります。

定義は下記の通りとおです。 引き上げ顧客:前期間に1回だけ購買があり解析月で購買のあったお客様 リピート顧客:前期間以降解析月までに3回以上購買のあったお客様 離脱顧客:前期間に1回だけ購買があり解析月に購買の無かったお客様 新規顧客:前期間に購買がなく解析月に購買のあったお客様

1日に複数回の購買があった場合も1回と数えています。ここでいう1回とは購買があった日1回という 意味になります。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	11月時点の属性
1						1		
	2					2	2	リピート顧客
	3	3				3		
4								
						(5)	5	引き上げ顧客

ある時点 11月 を考えると次のようになります。

■■ ママロ各体力がパワト部ノアイルそ	名の指定)	引き上げ率
<u>外部ファイル名の指定</u> > 対象シートの指定 > フィールドの指定	起 > 出力選択 > ブック名の:	指定 >
 蔵客情報の使用 	客情報を使用する 、為に使用されます。 易合に顧客情報を使用す	るにして下さい。
-外部データ1(顧客情報) 各種一覧に顧客名等の顧客情報の項目を出す場合に指定します。 C:¥Users¥ozcr7¥Documents¥サンプル_顧客情報.XLSX	最近使ったファイルから	。設定│F9:参照│
外部データ2 (購買情報) 購買情報を指定します。 C:¥Users¥ozcr7¥Documents¥サンプル_購買情報.XLSX	_最近使ったファイルから	設定│F8:参照│
ESC:前画面へ		F12:次へ

顧客情報:顧客の属性(顧客名等)のデータ 購買情報:商品の購買の記録

顧客情報は、顧客の名前等を出す場合にのみ指定します。 引き上げ率は購買情報から計算され出力されるので、一覧等を出さない場合は指定する必要は ありません。

顧客情報を使用する場合は、顧客情報を使用するを選択して下さい。

引き上げ率分析:(対象シートの指定: E x c e 1 データの場合)

Ozsystem RFM分析Pro (BUNK01	21) V5.00				
	いいお客様が	分析(対象シー	-トの指定)	引き上	げ率
 外部フ	アイル名の指定 > <u>対象シー</u>	ト <u>の指定</u> > フィール	ドの指定 > 出力選択	マ> ブック名の指定 >	
- 外部データ1(商品情報))				
C:¥Users¥ozcr7¥Docume	nts¥サンプル_顧客情報.	XLSX			
対象シート	お客様情報				
▼ 洗頭行をタイトル行として扱	3				
タイトル行数 1	•				
キー1 郵便番号	 异	住所2	住所3	メールアドレス	累計購買額、
0000001 5770824	住所1 住所1	住所2 住所2	住所3 住所3	test@ozsystem.jp	262406
0000003 5770824		住所2	住所3	test@ozsystem.jp	238782
	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem.jp	822834
0000005 5770824		住所2	住所3	test@ozsystem.jp	552092
0000007 5770824		住所2	住所3	test@ozsystem.jp	355575 🗸
< S551057	1 1구마기	17040	14,04,7	tect@ozcuctem in	>
- - 外部データ2(購買情報)	L				
C:¥Users¥ozcr7¥Docume	nts¥サンプル_購買情報.	XLSX			
対象シート	購買履歴				
▼ 先頭行をタイトル行として扱	3				
タイトル行数 1	•				
キー1 商品コー	·ド 購買日	購買額			^
0000001 B00118 0000001 D00312	2012/04/13 2012/05/14	3326 24781			
00000001 A00074	2012/11/28	9872			
0000001 E00445	2012/05/29	16174			
0000001 D00354	2012/11/11 2013/03/18	6262			
0000001 C00290	2013/03/10	15588			
	2013/02/05 2012/09/09	19106 14541			~
FSC·前面面入	2011271027102				F12·次へ
200.00回田. /					1 12.17

※顧客情報、購買情報の対象データがあるシート名を指定してください。

※データの1行目がタイトルの場合は、先頭行をタイトル名として扱うにチェックを入れてください。 タイトル行が複数行の場合はその行数を指定します。 例えば3とすると、データの先頭3行は無視して分析します。

引き上げ率分析:(対象シートの指定:CSVデータの場合)

Ozsystem RFM分析	Pro (BUNK0131) V5.00					
		いいお客様分	→析(先頭行の	指定)	弓	川き上げ率
	外部ファイル	名の指定 > <u>先頭行の</u>	<u>)指定</u> > フィールドの)指定 > 出力選択 >	ブック名の指定	>
┌外部データ1(商品情報)					
C:¥Users¥ozcr	?¥Documents¥サ:	ンプル」顧客情報.	CSV			
_ ┏ 先頭行をタ	イトル行として扱う	タイトル行数	1 -			
+-1	郵便番号	住所1	住所2	住所3	メールアドレス	累計購買都 🔨
0000001	5770824 5770824	住所1 分析1	住所2 分前2	住所3 分析9	test@ozsystem tect@ozcuster	1.jp 262406
0000003	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem	1.jp 10304
0000004	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem	1.jp 822834
0000005	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem	n.jp 635219
0000006	5770824 5770824	111月11 11日日 - 11日日 -	111102 住所2	111月17日 11月17日 11月17日	test@ozsystem test@ozsystem	1.jp 552092
0000008	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem	.jp 725625
0000009	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem	1.jp 188692
0000010	5770824	医斑!	住所2	住所3	test@ozsystem	1.jp 744573 🗸
<						>
_「 外部データ2 ()	購買情報)———					
C:¥Users¥ozcr	7¥Documents¥サ	ンプル_購買情報.	CSV			
☑ 先頭行をタ	イトル行として扱う	タイトル行数	牧 1 -			
+-1	商品コード	購買日	購買額			^
0000001	B00118	2012/04/13	3326			
0000001	A00074	2012/05/14	24101 9872			
0000001	E00445	2012/05/29	16174			
0000001	D00354	2012/11/11	24758			
0000001	C00245 C00290	2013/03/18 2013/03/10	6262 15588			
0000001	A00092	2013/02/05	19106			
0000001	C00279	2012/09/09	14541			
0000001	C00208	2013/02/20	9943			
0000001	D00343 D00313	2012/11/01 2012/06/09	9300 9331			¥
FSC·前面面	~ 1					F12·次へ
						1 10 10 1
2018/12/29	14:30					

※データの1行目がタイトルの場合は、先頭行をタイトル名として扱うにチェックを入れてください。 タイトル行が複数行の場合はその行数を指定します。 例えば3とすると、データの先頭3行は無視して分析します。

引き上げ率分析:(対象シートの指定: A c c e s s データの場合)

Ozsystem RFM分析	Pro (BUNK0141) V5.0	00				
		いいお客様分	}析(対象テ・	-ブルの指定)	引き上	こげ率
	外部ファイル名	の指定 > <u>対象テーブ</u>	<u>ルの指定</u> > フィー	ルドの指定 > 出力選択	> ブック名の指定 >	
┌外部データ1	(商品情報)——					
C:¥Users¥ozo	cr7¥Documents¥4	ナンプル」顧客.MD	В			
対象デ	ーブル <mark>わ客様</mark> 購買履歴	青幸 反 丞				
+-1	郵便番号	住所1	住所2	住所3	メールアドレス	累計購買額 🔨
0000001	5770824 5770824	住所1 住所1	住所2 住所2	住所3 住所3	test@ozsystem.jp test@ozsystem_in	262406
0000003	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem.jp	238782
0000004	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem.jp	822834
0000005	5770824 5770824	住所1 住所1	111日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11	111日1月13 11日1月13 11日1月13	test@ozsystem.jp test@ozsystem.in	552092
<	0110024	11/11	12//12	EMO	(сасеодауассш.)р	>
└外部データ2	(購買情報)———					
C:¥Users¥ozo	cr7¥Documents¥4	ナンプル」顧客.MD	В			
计象示	ーブルお客様的					
/Jast/	購買履用					
ギー1	商品コード	購買日	購買額			^
0000001	B00118	2012/04/13	3326			
0000001	D00312 A00074	2012/05/14 2012/11/28	24781 9872			
0000001	E00445	2012/05/29	16174			
0000001	D00354	2012/11/11	24758			~
ESC:前画面	i~					F12:次へ
2018/12/29	14:31					

※顧客情報、購買情報の対象データがあるテーブル名を指定してください。

引き上げ率分析:(フィールドの指定)

Ozsystem RFM分析	Pro (BUNK0201) V5	.00				
		いいお客様	分析(フィー	ルドの指定)	引き_	上げ率
	外部ファイル	名の指定 > 対象テー:	ブルの指定 > <mark>フィ</mark>	<u>ールドの指定</u> > 出力達	崔択 > ブック名の指定 >	
「キーの指定(オ	5客様が一意に特	寺定できるキーの指	定) ———			
サンフル」顧客。	MDB (お客様情報)			ンフル」顧客、MDB (購員	腹歴)	
T			<u> </u>			-
			<u> </u>			-
			• =			•
┌パラメータ―						
		購買日 購買日	3		•	
□ 商品指定を	行う(チェック無し)	なら全商品)				
I IDITITI A	11 / J / J / J / J / J / J / J	商品の利商品	1ード		▼ 商品指	定画面表示
		Interview Interview				
□ ▽ 金額を出力	する		z			
		玉額0.991 購買客	貝		T	
キー1	郵便報号	住所1	住所2	住所3	メールズドレフ	思計購入
0000001	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem.jp	26240
0000002	5770824 5770824	住所1 住所1	住所2 住所2	住所3 住所3	test@ozsystem.jp test@ozsystem_in	10504 別 23878 窓
0000004	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem.jp	82283 C
0000005	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem.jp	
<	1	[<u> </u>
#~1	<u> 商品ゴード</u> B00118	購買日 2012/04/13	購買額 3326			^ ←
0000001	D00312	2012/05/14	24781			- 別
0000001	A00074 E00445	2012/11/28	9872 16174			窓
0000001	D00354	2012/03/25	24758			表
0000001	C00245	2013/03/18	6262			▼ 示
Rec. Star						E10. Ver .
「 50:前画面						F12:7入へ
2018/12/29	14:31					

※顧客を特定できるキーのフィールドを指定してください。

※顧客情報を使用する場合は、 結びつけができるようキーの指定をしてください。

特定の商品をグループに分けて分析する場合は 商品指定を行う。 にチェックを入れて 商品指定画面のボタンをクリックします。(次ページ参照)

※金額合計を出力するかを指定します。

※F12:次へをクリックして処理を進めます。



が表示されます。

各ボタンでデータ内容がすべて表示されます。

バープを指	定できるフィー	ルド(前画面で指定)	ノたキーのフィール	۴)	
サンプル」顧客	.MDB (購買履歷)				
mmユート ブループの指	定				
. ()	全チェック	が解除 テンプレート	上に詰める		
次 商品⊐~	·۲: اعظ	グループ名称			
	<u>與</u> 月				
1777118	4	1180)席	б <u>а</u>		
				対象確認	
1				対象確認	
				対象確認	
1				対象確認	
				対象確認	
-1	商品コード	購買日	購買額		
00001	B00118 D00312	2012/04/13 2012/05/14	3326 24781		
000001	A00074 E00445	2012/11/28 2012/05/29	9872 16174		
00001	D00354	2012/11/11	24758		
000001	C00243 C00290	2013/03/10	15588		
100001	AUUU92 C00279	2013/02/05 2012/09/09	19106 14541		

特定商品をキーでグループ分けする場合に指定します。

?は全ての文字1桁を表します。 例えば下記のような商品コードがある場合 A00100X C00300Y A00100BBBX D00200D A00100B E00100WE E00100B А 頭1桁がAの商品 ???1 4桁目が1の商品 ??????B 8桁目がBの商品 A00100X A00100X A00100BBBX A00100BBBX A00100BBBX A00100B A00100B E00100WE E00100B

となります。

※ワンポイント

右横の 対象確認 をクリックすると

下の枠に絞り込まれたデータが表示されます。

商品コード	商品名	単価	原価
A00001	商品名A00001	5579	4184
A00002	商品名A00002	2076	1557
A00003	商品名A00003	3985	2989
A00004	商品名A00004	1249	937
A00005	商品名A00005	3918	2938
A00006	商品名A00006	2213	1660
A00007	商品名A00007	4365	3274
A00008	商品名A00008	3981	2986
80000Q	76 P ·2 / 00000	5350	4014

Ozsystem RFM分析Pro (BUNK0301) V5.00	
1000000000000000000000000000000000000	■ 「「「「」」「「」」」 「「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「
外部ファイル名の指定 > 対象テー	・ブルの指定 > フィールドの指定 > <u>出力選択</u> > ブック名の指定 >
 期間と指定年月の指定 前調査期間 6 → ヵ月 出力期間 2012 ↓ 年 12 ↓ 月 から 3 ↓ ヵ月分 購買データの日 げ範囲を調べる 一覧ダブルクリッ 方で出力期間年月 一 一 一 一 金商品合算 全指定 全解除 ○ 金商品合算 ○ 全商品合算 ○ 全商品合算 ○ 金商品合算 ○ 市品G:0 ○ 商品G:0 ○ 商品G:0 □ 商品G:0 	 出力物の指定2(一覧) □ 引上者一覧 □ 離脱者一覧 一覧の出力項目 外部データ1(顧客情報) 最終来店日 全指定 全解除 全指定 全解除 全指定 金額時 ダブルクリック でも指定/照 除できます。 メーリンアドレス 累計購買額 スーリンフドレス メーリンフドレス 累計購買額 アンテンス 取用 メーリンフドレス メーリンフドレス ステー1 第 アン・フリンフ アン・フリック マン・ アン・ アン・ アン・ アン・
□ 商品G:0 □ 商品G:0	顧客情報を使用する場合のみ使用できます。
ESC:前画面へ	[] [F12:次へ]

出力物は、下記のものがあります。(内容は見本を参照してください)

引き上げ率 引上者一覧 離脱者一覧

顧客情報の出力項目

顧客情報を使用する場合に、一覧に指定した項目を追加して出力します。 但し、商品指定を行っていない場合及び顧客情報を使用しない場合は、 指定する事ができません。

引き上げ率分析:(分析結果ブック名の指定)

Ozsystem RFM分析Pro (BUNK0401) V5.00	
💷 いいお客様分析(分析結果ブッ	ウ名の指定) 引き上げ率
外部ファイル名の指定 > 対象テーブルの指定 > フィールドの指	記 > 出力選択 > <u>ブック名の指定</u> >
_分析結果Bracelゴックタ(フォルガを指字) だい得合けマスドキュウスト	に作成されます)
「カガル日来ビスCELフランコ(フォルスを1日)としよい場合なくイドキュハンド	●CIFACAでよップ 最近使ったファイルから設定 F9:参照
╠:¥Users¥ozcr7¥Documents¥サンプル_分析結果引き上げ率.XLSX	
	パラメータの保存
ESC:前画面へ	F12:次へ
2018/12/29 14:34	

※分析結果はここで指定した名前のExcelブックとして生成されます。 ※パラメータの保存で、パラメータを保存することをおすすめします。

※ワンポイント

最近使ったファイルから設定 で、使用履歴から選択する事ができます。

※F12:次へをクリックすると分析が始まり、終了するとExcelブックが表示されます。 注意:Excle2007以上の設定で、

オプション --> 保存 --> ファイルの保存形式 --> Excel 97-2003 ブック(*.xls) と設定している場合は、一覧の最大行数は65536行となります。

CPM分析 Ozsystem RFM分析Pro (BUNV0101) V6.00 III いいお客様Pro M CPM分析 いいお客様分析(データ形式の指定) 分析処理 DM印刷 分析処理 デシル分析 RFM分析 パシージ的観, 19%1度9、 ABC分析 引き上げ率 CPM分析 DM準備 DM印刷 -新規/修正-○ 新規にパラメータを設定して分析を行う ○前に分析したパラメータを修正しながら分析する パラメータファイル読込 Statis Art and A comp 業等 操作マニュアルの表示 開からたどか発見に対していた。 サンプル出力見本 いいお客様知ったついて ユーザ登録 お問い合わせ 補助処理メニュ • 直前のパラメータのまま ○ 直前のパラメータのままで、出力選択画面へ直行 データの形式の指定 ß ● 外部データは、Excelブック(xls/xlsx) · 前面雨 ・外部データは、csvデータ(csv) ・外部データは、Accessデータ(mdb/accdb) サンプルデータにて試用 直前の実行結果を表示 F12:実 行 ESC:メニューヘ

※新規/修正部分を選択します。 ※データ形式の指定を選択します。

いいお客様 P r o は、Excel2000以上のエクセルブックまたはCSV形式のファイル、 Access MDB型式及びAccess accdb形式をサポートしています。

2020/11/10 10:34

※F12:実行をクリックして処理を進めます。 ※ワンポイント

パラメータファイル読込で保存したパラメータを読み込むことができます。

直前の実行結果を表示 前回の結果をexcelを起動して表示します。

サンプルデータにて試用

で内蔵しているサンプルデータを使用できます。 各種パラメータも自動設定されますので 最初はこの機能で体験してください。

サンプルデータの形式は、3種類を用意していますので、該当のデータをお使いください。

CPM分析とは

CPM分析とは、顧客ポートフォリオマネジメント (Customer Portfolio Management) を略した 顧客分析方法です。

具体的には、お客様を一定の基準によって分類し、その層に合致したマーケティング施策を行う為 の資料を出力します。

特にECサイトのリピーターの確保に効果的な手法と言われています。

分類は

1:優良顧客	一定の期間以上に一定の額以上購入してくれているお客様
2:コツコツ顧客	そこそこの期間来店してくれて少し購入してくれているお客様
3:流行顧客	ある一定の期間に一定の額以上購入してくれているお客様
4:よちよち顧客	ある短期間に購入してくれたお客様
5:初回現役	一回のみ購入してくれたお客様

具体的には

期間 :最終購入日と初回購入日の経過期間 ロス期間 :分析を行う日(基準日)と最終購入日の経過期間 として、一般的な日付けを用いると

1:優良顧客	期間≧210日 & 売上累計 ≧7万円	&	ロス期間<240日
2:コツコツ顧客	期間≧90日 & 売上累計 <7万円	&	ロス期間<240日
3:流行顧客	90日≦期間<210日 & 売上累計≧7万円	&	ロス期間<240日
4:よちよち顧客	0日<期間<90日	&	ロス期間<240日
5:初回現役	期間=0 日	&	ロス期間<240日
となります。それぞれのタ	↑類で、ロス期間以上に来店間隔がありている	お客	F様を離脱客と考え
6:優良顧客(離脱)	期間≧210日 & 売上累計 ≧7万円	&	ロス期間 ≧240日
7:コツコツ顧客(離脱)	期間≧90日 & 売上累計 <7万円	&	ロス期間>= 240日
8:流行顧客(離脱)	90日≦期間<210日 & 売上累計 ≧7万円	&	ロス期間≧240日
9:よちよち顧客(離脱)	0日<期間<90日	&	ロス期間 ≧2 40日

& ロス期間≧240日

と分類します。

A:初回顧客(離脱)

これらの分類にしたがって、適切なマーケティングを行います。

期間=0 日

Ozsystem RFM分析Pro (BUNC0111) V6.00	
1 いいお客様分析(外部	『ファイル名の指定) CPM分析
	フィールドの指定 > 出力選択 > ブック名の指定 >
▲ 顧客情報の使用	。
○ 顧答相報を使用しない。 CDM公共は時度に起から計算されます	1• <u>潤谷1月牧を1</u> 史用90
CFM力がは購買目報がつ計算でれます。 前室情報は「菌室の名前等の情報を出す為に使用され、	≠ď
顧客の名前等が購買情報にある場合は、顧客情報に購	☆ ッ。 買情報と同じファイルを指定して下さい。
↓	
各種一覧に顧客名等の顧客情報の項目を出す場合に指定	します。 🔄 最近使ったファイルから設定 F9:参照
C:¥Users¥ozcr7¥Documents¥サンプル_顧客情報CPM.XLS	
┌外部データ2(購買情報)	
購買情報を指定します。	■3最近使ったファイルから設定F8:参照
C:判sers¥ozcr7¥Documents¥サンプル_購買データCPM.XI	SX
ESC:前画面へ	F12:次へ
2020/11/10 11:10	

顧客情報:顧客の属性(顧客名等)のデータ 購買情報:商品の購買の記録

顧客情報は、顧客の名前等を出す場合にのみ指定します。 CPM公転は購買情報から計算され出力されるので、一覧第な出さない情

C P M 分析は購買情報から計算され出力されるので、一覧等を出さない場合は指定する必要は ありません。

顧客情報を使用する場合は、顧客情報を使用するを選択して下さい。

Ozsystem RFM分析P	ro (BUNC0111) V6.00				
	いいま	5客様分析(外部ファイ	ル名の指約	走)	CPM分析
	外部ファイル名の指定 >	対象シートの指定 > フィールド	の指定 > 出力	り選択 > ブック名の	指定 >
■顧客情報の使 ○ 顧客情報を CPM分析は 顧客情報は 顧客の名前	用 ・使用しない ・購買情報から計算されま ・、顧客の名前等の情報を ・等が購買情報にある場合	☞ 麗 す。 出す為に使用されます。 は、顧客情報に購買情報と	「客情報を付	使用する ンを指定して下さい	<i>n</i> .
外部データ1() 各種一覧に顧 C:¥Users¥ozc	顧客情報) 「客名等の顧客情報の項目 r7¥Documents¥サンプル_	Bを出す場合に指定します。 顧客情報CPM.XLSX		愛近使ったファイル	から設定 F9:参照
 -外部データ2(購買情報を指 C:¥Users¥ozc	購買情報) 定します。 r7¥Documents¥サンプル_	購買データCPM.XLSX		愛近使ったファイル	から設定 F8:参照
ESC:前画面~ 2020/11/10	11:13				F12:次へ

- ※顧客情報、購買情報の対象データがあるシート名を指定してください。
- ※データの1行目がタイトルの場合は、先頭行をタイトル名として扱うにチェックを入れてください。 タイトル行が複数行の場合はその行数を指定します。 例えば3とすると、データの先頭3行は無視して分析します。

CPM分析:(対象シートの指定:CSVデータの場合)

Ozsystem RFM分	析Pro (BUNC0131) V6.00)				
		いいお客様	余析(先頭行)	の指定)	CPM分析	
	外部ファイル	名の指定 > <u>先頭(</u>	<u>うの指定</u> > フィール	ドの指定 > 出力選打	択 > ブック名の指定 >	-
┌外部データ1	(商品情報)———					
C:¥Users¥oz	cr7¥Documents¥サ:	ンプル_顧客情報	粻CPM.CSV			
☑ 先頭行を	タイトル行として扱う	タイトル行	数 1 -			
+-1	郵便番号	住所1	住所2	住所3	メールアドレス	^
0000001	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem.jp	
0000002	5770824	1王所1 分析1	1王所2 分前2	1王所3 分前2	testWozsystem.jp	
0000003	5770824	住所1	住所の	111月13 住前3	test@ozsystem.jp	
0000005	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem.jp	
0000006	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem.jp	
0000007	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem.jp	
0000008	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem.jp	
0000009	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem.jp	
0000010	5770824 5770934	111.1111 分析1	1111月7日 分前の	111月7日 分前の	testwozsystem.jp	
0000011	5110024	1五月11 (全部41	注用る	上川こ 谷振り	tost@ozsystem.jp	×
- 外部データ2	(購買情報)					
C:¥Users¥oz	cr7¥Documents¥サ、	ンプル_購買デ・	ータCPM.CSV			
☑ 先頭行を	タイトルレ行として扱う	タイトルイ	テ数 1			
ギー1	購入日	商品コード	購買額			~
0000001	2018/11/15	商品21	726			
0000001	2019/11/15	商品35	1048			
0000001	2019/07/17	商品3	4133			
0000001	2019/01/20 2019/04/02	商品3 商品16	2290 5647			
0000001	2019/06/14	商品11	2854			
0000001	2019/06/01	商品4	2814			
0000001	2019/05/02	商品48	4986			
0000001	2019/04/08	商品29	1527			
0000001	2019/06/09	商品15 英日19	4885			
0000001	2019/10/31 2019/03/12	商品13 商具30	2206 5558			~
- FC・前冊の	研入				F12.)	W~~
	Щ. Х				1.12.4	<u> </u>
2020/11/10	11:14					

※データの1行目がタイトルの場合は、先頭行をタイトル名として扱うにチェックを入れてください。 タイトル行が複数行の場合はその行数を指定します。 例えば3とすると、データの先頭3行は無視して分析します。

CPM分析:(対象シートの指定:Accessデータの場合)

Ozsystem RFM分核	行Pro (BUNC0141) V6.0	D				
		いいお客様	分析(対象テ・	ーブルの指定)	CPM分析	
	外部ファイル名の	の指定 > <u>対象テー</u>	<u>ブルの指定</u> > フィー	・ルドの指定 > 出力:	選択 > ブック名の指定 >	
⊢外部データ1	(商品情報)					
C:¥Users¥oz	cr7¥Documents¥サ	レプル」顧客情報	緩CPM.MDB			
対象:	テーブル お客様情	幸侵				
ギー1	郵便番号	住所1	住所2	住所3	メールアドレス	^
0000001	5770824	住所1 分析1	住所2 住所2	住所3 分析3	test@ozsystem.jp	
0000003	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem.jp	
0000004	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem.jp	
0000005	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem.jp	
0000006	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem.jp	
1000003	5770824	医斑!	医斑2	<u> </u>	test@ozsystem.jp	×
- 外部データ2 C:¥Users¥oz	:(購買情報) ccr7¥Documents¥ち	レプル_購買デ・	ータCPM.MDB			
対象	テーブル 購買デー	¢				
+-1	購入日	商品コード	購買額			^
0000001	2018/11/15	商品21	726			
0000001	2019/11/15	商品35	1048			
0000001	2019/07/17 2019/01/25	商品。	4133 2290			
0000001	2019/04/02	商品16	5647			~
ESC:前画面	i۰.				F12:次·	\sim
2020/11/10	11:14				-	

※顧客情報、購買情報の対象データがあるテーブル名を指定してください。

CPM分析:(フィールドの指定)

Ozsystem RFM分核	ffPro (BUNC0201) V6.0	0				
		いいお客様	兼分析(フィー)	レドの指定)	CPM5	→析
	外部ファイル	名の指定 > 対象シ	ートの指定 > <u>フィー</u>	<u>ルドの指定</u> > 出力選	【訳 > ブック名の指定 >	
┌キーの指定(:	お客様が一意に特	定できるキーの	指定) ———			
サンプル・顧客	情報CPM.XLSX (お客	「様情報)	サン	/プル_購買データCPM	A.XLSX (CPM購買)	
7-1			7 = 7	-1		<u> </u>
			=			<u> </u>
			<u> </u>			•
「パラメーター			Ħ			
		購買日 購入	, Ħ		T	
		金額の列 購買	額		▼	
反 商县指党2	に行ぶ(チュッカ毎1 か	ふ今商旦)				
	-11 // -9/	商品の利商品	<u>コード</u>			*画面表示
<i>≠</i> −1	郵便番号	住所1	住所2	住所3	メールアドレス	^ ←
0000001	5770824 5770824	住所1 住所1	住所2	住所3	test@ozsystem.jp test@ozsystem.jp	別
0000003	5770824	住所1 住所1	住所2 住所2	住所3 住所3	test@ozsystem.jp test@ozsystem.jp	窓
0000005	5770824	住所1	住所2	住所3	test@ozsystem.jp	表
0000006	5770824	住所1 住所1	住所2	住所3	test@ozsystem.jp	↓ 示
*-1	購入日	商品コード	購買額			<u>^</u>
0000001	2018/11/15 2019/11/15	商品21 商品35	726			別
0000001	2019/07/17	商品3	4133			窓
0000001	2019/01/25	商品9 商具16	2290 5647			
0000001	2019/06/14	商品11	2854			↓ 祭
	- 1		-1013			
ESC:前画由					F.	12:7天へ
2020/11/10	11:18					

※顧客を特定できるキーのフィールドを指定してください。

※顧客情報を使用する場合は、

結びつけができるようキーの指定をしてください。

特定の商品をグループに分けて分析する場合は 商品指定を行う。 にチェックを入れて 商品指定画面のボタンをクリックします。(次ページ参照)

※F12:次へをクリックして処理を進めます。



をクリックすると.



が表示されます。

各ボタンでデータ内容がすべて表示されます。

ループの指定	>ギ」/1977年 デンプロート トレーキホス		
が商品コード 二	グループ名称	絞込解除	
商品2???	商品頭2のもの		
		対象確認	

特定商品をキーでグループ分けする場合に指定します。

?は全ての文字1桁を表します。 例えば下記のような商品コードがある場合 A00100X C00300Y A00100BBBX D00200D A00100B E00100WE E00100B А 頭1桁がAの商品 ???1 4桁目が1の商品 ??????B 8桁目がBの商品 A00100X A00100X A00100BBBX A00100BBBX A00100BBBX A00100B A00100B E00100WE

となります。

※ワンポイント

右横の 対象確認 をクリックすると

下の枠に絞り込まれたデータが表示されます。

商品コード	商品名	単価	原価
A00001	商品名A00001	5579	4184
A00002	商品名A00002	2076	1557
A00003	商品名A00003	3985	2989
A00004	商品名A00004	1249	937
A00005	商品名A00005	3918	2938
A00006	商品名A00006	2213	1660
A00007	商品名A00007	4365	3274
A00008	商品名A00008	3981	2986
80000Q	新日·乞∧∩∩∩∩Q	5353	4014

E00100B

Ozsystem RFM分析Pro (BUNC0301) V6.00	
いいお客様分析(出力選択) CPM分析 外部ファイ	7ル名の指定 > 対象シートの指定 > フィールドの指定 > 出力選択 > ブック名の指定 >
- CPMパラメータ	
期間1(優良/流行判定用)210 日 期間2(コツコツ/流行/よちよち判定用) 90 日	出力物の)指定2(一覧)
#111111111111111111111111111111111111	▼ CPMパラメータ ▼ 顧客状況一覧
	一覧の出力項目
優良顧客 期間≧ 210日 購買累計≧ 70,000円 離脱期間< 240日	外部データ1 (顧客情報) 出力指定済み項目
コツコツ顧客 期間≧ 90日 購買累計< 70,000円 離脱期間< 240日	ギー1 ● 郵便番号
流行顧客 90日 ≦期間<210日 購買累計≥ 70,000円 離脱期間<240日	全指定 住所2
よちよち顧客 0日<期間<90日 離脱期間<240日	指定はメールアドレス
初回現役 期間=0日 離脱期間<240日	
優良顧客(離脱) 期間≥ 210日 購買累計≥ 70,000円 離脱期間≥ 240日	
コツコツ顧客(離脱) 期間≥ 90日 購買累計< 70,000円 離脱期間≥ 240日	
流行顧客(離脱) 90日 ≤期間<210日 購買累計≥ 70,000円 離脱期間≥240日	ガゴ ルガ11ック
よちよち顧客(離脱) 0日<期間< 90日 離脱期間≧ 240日	でも指定/解
初回現役(離脱) 期間=0日 離脱期間≥ 240日	除できます。
出力期間 2020 → 年 5 →月 🔽 全商品合算	
から 3 ▼ ヵ月分 1 ▼日起算 🔽 商品G:商品2???(商品頭2のもの)	
ー覧ダブルクリックで出力期間年月設定 □ 商品G:0	
□ □ 商品G:0 靠	顧客情報を使用する場合のみ使用できます。
│ 購買データの日付範囲を調べる │ □ 商品G:()	
□ [] 商品G:0 麝	▼ 人数グラフ ▼ 購買累計グラフ
□ □ 商品G:0 障	
□ 商品G:0	
□ 商品G:()	
□ 商品G:0	◎ 種類1 ○ 種類2 ○ 種類3 ○ 種類4 ○ 種類5
ESC:前画面へ	F12:次へ
2020/11/10 11:21	

CPMパラメータに期間を設定して下さい 「一般値を設定」ボタンで一般的な値を設定します。

「規定値として保存」ボタンで任意の値を規定値とすることができます。 「規定値を読み込み」ボタンで保存したを規定値を読み込み設定します。

出力期間は複数月を指定する事ができます。

この例では、2020年5月1日・6月1日・7月1日を起算日として、 購買情報の最終来店日から起算日までの経過日数を離脱期間として計算します。 離脱期間の調整や、やがて離脱しそうなお客様の推移をみる事ができます。

出力物は、下記のものがあります。(内容は見本を参照してください)

サマリー CPMパラメータ 顧客状況一覧

顧客情報の出力項目

顧客情報を使用する場合に、一覧に指定した項目を追加して出力します。 但し、商品指定を行っていない場合及び顧客情報を使用しない場合は、 指定する事ができません。

CPM分析:(分析結果ブック名の指定)

Ozsystem RFM分	析Pro (BUNC0401) V6	00					
		いいお客様	兼分析(分析;	結果ブック名の)指定)	CPM分析	
	外部ファイル名	の指定 > 対象シ	ートの指定 > フィ	ールドの指定 > 出た	力選択 > <u>ブック名</u>	<u>の指定</u> >	
┌分析結果Ex	ccelブック名(フォル	レダを指定しない	い場合はマイド	キュメントに作成	されます) ——		
					最近使ったこ	ファイルから設定 H	79:参照
C:¥Users¥o	zcr7¥Documents¥	サンプル_分析	斤結果CPM・XLS	Х			
□ 顧客状況	!一覧をCSV形式で	で出力(上記指)	定ブック名」顧客	\$状况一覧nnnn	mXXX.CSVと	いうファイルになり	ます。)
				ותחחח	m:基準月 XX	X:商品グループ	
					パラメ	マータの保存	
ESC:前面	面へ					F12:,	次へ
2020/11/11	14:54						

※分析結果はここで指定した名前のExcelブックとして生成されます。 ※パラメータの保存で、パラメータを保存することをおすすめします。

□ 顧客状況一覧をCSV形式で出力(上記指定ブック名」顧客状況一覧nnnnnnXXX.CSVというファイルになります。) nnnnnn:基準月 XXX:商品グループ
にチェックを入れるとrfm分析顧客一覧はcsv形式となります。 Excelブックで保存するよりもかなり高速に処理ができます。

※ワンポイント

最近使ったファイルから設定 で、使用履歴から選択する事ができます。

※F12:次へをクリックすると分析が始まり、終了するとExcelブックが表示されます。 注意:Excle2007以上の設定で、

オプション --> 保存 --> ファイルの保存形式 --> Excel 97-2003 ブック(*.xls) と設定している場合は、一覧の最大行数は65536行となります。



パラメータ等を、名前(**テンプレート名**)を付けて保存する事が出来ます。

 テンプレートの一覧
 デンプレートの一覧

 ボタン F1:名前順 F2:日付時刻順
 F2:日付時刻順

 P2:日付時刻順で並び替えが出来ます。



ボタン F6:読込

保存されているテンプレートの一覧から選び、 F6:読込を押します。





ボタン F8:保存 テンプレート名を入力してF8:保存を押します。

テンプレートの削除



保存されているテンプレートの一覧から選び、 F4:テンプレートからの削除を押します。

テンプレート(使用フォルダ:C:¥KKR¥LOCAL¥) *.T01				
テンプレート名		F6:読达	F8:保存	ESC:キャンセル
保存されているテンプレート	F1:名前順	F2:日付時刻	⑨順│ F4:テンフٵ	/ートからの削除

テンプレート(使用フォルダ:C:¥KKR¥LOCAL¥) *.T01				
テンプレート名		F6:読込	F8:保存	ESC:キャンセル
保存されているテンプレート	F1:名前順	F2:日付時刻	⑨順│ F4:テンフٵ	/ートからの削除

F6:読込 F8:保存 ESC:キャンセル

F1:名前順 F2:日付時刻順 F4:テンプレートからの削除

テンプレート(使用フォルダ:C:¥KKR¥LOCAL¥) *.T01

テンブレート名

保存されているテンプレート

保守



- 2操作マニュアルの表示 この操作マニュアルを表示します。 操作マニュアルの表示には『Adobe Acrobat Reader(アドビ アクロバット リーダー)』が必要です。
- ③サンプル出力見本

サンプル出力のExcelブックを表示します。

④いいお客様 Proについて

バージョン等を表示します。

お問い合わせ

お問い合わせは、メインメニューの「お問い合わせ」をクリックしてください。 インターネット上のお問い合わせ画面が表示されます。

分析処理	DM印刷
デシル分析	DM準備
RFM分析 RFRMEM分析は、RFM分析の バラメータで指定して分析します。	DM印刷
ABC分析	
引き上げ率	
CPM分析	
補助処理(MDB,CSV処理)	保守
補助処理メニュー	操作マニュアルの表示 操作マニュアルの表示にはWolobe Acrobat Readerでドビアクロバットリーダー加が必要です
	サンプル出力見本
	いいお客様Proについて
	ユーザ登録 お問い合わせ

く==ここ

l	いお客様Pro お問い	合わせ				
	いいお客様Proについて ください。	りん問い合わせた 息見等は、1記に内容を入力して送信ホタンをクリックして				
	お名前					
	メールアドレス					
	もう一度メールアドレス					
	A44.2		_			
	云和名					
	ご意見内容					
			-			
		送信				

DM印刷

DM印刷は、下記手順で行います。

①DM準備

分析結果のデータから住所等を指定し、印刷用データを準備します。

	DM	準備		
DM番号 00001 テスト用データ	_ ପା	索引リストからの選拔 1 3 1:印刷済 2:未	₹ <u>F2:一覧表示</u> 指定番号以降 印刷 3:両方	
		番号一覧 該当番号の対象 7	出力 「ーター覧出力	
し 新規に登録する場合は自	目動的に番号	が付番されます。(入力に	「不要です)	

②DM印刷

DM準備で準備したデータから、ハガキ/タックシール等のパラメータを設定して、 印刷を行います。

	I	DM印刷	
DM番号 C	0001 ^{準備の} 番号 ³	索引リストからの選択 F2:一覧表 1 1:先頭から 2:指定番号以降 3 1:印刷済 2:未印刷 3:両方	示
		番号一覧出力	
 ● 全て(印刷約 ○ 未印刷のも0 ○ 用紙 	¥み/未印刷にかかわら ひ	ず <u>全</u> て)	
C ハガキ	の タックシール	1000 とサゴGB861	-

DM準備:(DM番号指定)

Ozsystem R	FM分析Pro (BUND0101)						
		DM.	[準備				
	DM番号 0 0001 テスト用データ	- 1	索引 1 3	Jストからの選 1:先頭から 2 1:印刷済 2:≉	択 F2:一覧表示 :指定番号以降 :印刷 3:両方		
				番号一見	電出力 ≕ ▶ 際山中	-	
	、 新規に登録する場合は自動	的に番号	が付番る	されます。(入力)	は不要です)		
ESC:⊀=	12-~	F5:複	[写	F10:削 除	F11:新規入力	F12:修	E
2013/10/2	28 15:48	1	0a - 26		4		_

ダイレクトメールを送付するデータにDM番号を付けます。 対象は、RFM分析結果のRFM顧客一覧シート、デシル分析結果のデシル顧客一覧シートです。

DM番号のフィールド: 複写・削除・修正の場合に、対象のDM番号を入力します。 新規入力の場合は、入力の必要はありません。 F2:一覧表示をクリックして、表示される一覧から選択して 入力する事ができます。

機能

- 複写: DM番号フィールドで指定したDM番号のデータを新たなDM番号で複写します。
 ①複写元番号を指定。
 ②F5:複写をクリック
 ③予定数設定確認画面で、確認後 F12:実行で複写完了。
- 削除: DM番号フィールドで指定したDM番号のデータを削除します。
 ①削除する番号を指定。
 ②F10:削除をクリック
 ③予定数設定確認画面で、確認後 F12:実行で削除完了。
- 新規入力:新たにデータを作成します。DM番号フィールドには入力不要です。
 ①番号は、自動発番されます。(指定の必要はありません。)
 ②F11:新規入力をクリック
 ③対象分析結果ブックの指定画面で、ブックを指定。F12:次へをクリック
 ④項目の指定画面で、住所等の項目を指定。F12:次へをクリック
 ⑤件数確認画面で、グループ等で件数を絞り込み指定。F12:次へをクリック
 ⑥データ内容の画面で、指定した項目の正当性を確認。F12:次へをクリック
 ⑦予定数設定確認の画面で、予定数の設定確認。F12:実行をクリック
 - 修正: DM番号フィールドで指定したDM番号のデータを修正します。 手順は、新規入力時と同じです。
 - 「番号一覧印刷」

```
作成されているDM番号の一覧をExcelブックとして作成します。
```

「該当番号の対象データー覧」 DM番号フィールドで指定したDM番号で、対象となった顧客データの一覧 をExcelブックとして作成します。

DM準備:(対象分析結果ブックの指定)

Ozsystem RFM分析Pro (BUND0111) 365		
対象分析結:	果ブックの指定	
 分析結果形式の指定 ● RFM分析結果 ● デシル分析結果 		
分析結果データを指定します。	直前の解析結果から設定	F9:参照
ESC:前画面へ 2013/10/28 12:54		F12:次へ

RFM分析結果かデシル分析結果、どちらを対象とするか指定して、対象ファイルを 指定します。

指定した対象ブックファイルの中にある RFM分析結果の場合は、RFM顧客一覧シート、 デシル分析結果の場合は、デシル顧客一覧シートが対象となります。

「直前の分析結果から設定」をクリックすると、分析で指定したファイル名が設定されます。
Ozsystem RFM分析Pro (BUND	0201)		
		項目の指定	
	C:	¥分析結果¥テストデータ.xls	
外部データ 前レニ	コード 次レコード	使用情報	設定解除
1009:氏名ブル 010:氏名1		010:氏名1 <010:氏名1 011:氏名2 <011:氏名2	
011:氏名2		020:郵便番号1 <013:郵便番号3桁	
012:郵便番号7桁 013:郵便番号3桁	-	021:郵便畨号2 <014:郵便畨号4桁 030:住前1 <015:住前1	
014:郵便番号4桁		031:住所2 <016:住所2	
015:住所1 016:住所2		032:111月3 <017:11月3	
017:住所3			
018:メールアトレス			
020:累計利用回数			
021. ±+7, μ			
		 上部をクリックすると該当項目設定のHELPが表示されます。	
		郵便番号が前 XXX-YYYY のように別れている場合は、	
		第1次日 7201日だしてN.CV。	
	にもあってはなない。な		
ESC:前画面へ 復用 指定	「IFWの項目をクリックします。設定を解除す	し、対応する27部デーダ部分の項目をダブルクリックして、 たるには画面右上の「設定解除」ボタンをクリックします。	F12:次へ
2013/11/15 14:39			

指定した対象分析結果ブックから必要項目を指定します。

なお、郵便番号が7桁で設定されている場合は、郵便番号1の部分に設定してください。

DM準備:(件数確認)

対象データがRFM分析の場合

yster	n RFM分析Pro (BUND020	2)			
			件数確認		
	出	力するグループを指	定し、件数を確認	認してください	
	-1-1-3**		チェックさ	れているデータの作	+数7件
	田力クループ	-		全部チェック 全	部解除
	▼ ØループA Γ	ブループB Г グルー	プロログループロ	「グループE 「ま	令 類
	グループA:	7 件			
	グループB: グループC:	2件			
	グループE:				
	Jone JX:	01+			
	1				
C:前	前画面へ				F12:次画
3/1	0/23 15:44				

対象データがデシル分析の場合

	件数確認
出力するグループを指定	包、件数を確認してください
	キュットさわブリスデュラの休物 10 月
カグループ	J T D C L C V S J - S O H S I O H
	_全部チェック 全部解除
上位10%以内 マデシル1データ	51%~60% 「デシル6データ
11%~20% ▼ デンル2データ 21%~30% □ デシル2データ	61%~70% II デシル7データ
21% 30% ♥ アンル3アータ 31%~40% ▼ デシル4データ	71%~80% L デジル8テータ 81%~90% L デシル8テータ
41%~50% 🔽 デシル5データ	91%~ ロデシル10データ
位10%以内=デシル1データ:	2 (4
1%~20% デシル2データ:	2件
1%~20% デジル3データ: 1%~20% デジル4データ:	21年 21件
1%~20% デシル5データ:	2 (4
1%~20% デンル6データ・ 1%~20% デシル7データ:	21年
1%~20% デシル8データ:	2件
1%~20% デジル9テータ: 1%~以上 デシル10データ:	114
	7270.000

グループ/デシル値を指定して、件数を確認します。

			データ内容	の確認	
全件表示		17	件を表示して	います。	↓ 外部へ取り出し
+-1	グループ	メールアドレス	お名前	生年月日	
0000004	A	colshp@ozsy	上町 大介	0627	
0000005	A	shopgmark@	方円 隆	0723	
0000006	A	mmk;dk;fk;k	豊中 花子	0527	
8000000	A	ozkenjs001@	松原 太郎	0519	
0000010	A	ozkenjs003@	西宮 草子	0613	
0000011	A	ozkenjs004@	奈良 浩二	0106	
0000017	A	ozkenjs010@	岸田 昌代	412	
0000001	В	tanaka2013@	大阪 太郎	0221	
0000003	В	oznagase@ka	神奈川三郎	0201	
0000007	В	tore@yahoo	柴田 洋子	0305	
0000013	В	errakokos.jp	佐竹 森子	0928	
0000014	В	ozkenjs007@	茨城 五郎	0426	
0000015	В	ozkenjs008@	小坂さよ	0318	
0000009	С	ozkenjs002@	酒井 三郎	0721	
0000012	C		豊崎 慎一	1027	
0000002	D	mituyama@a	東京 次郎	0922	
0000016	E	ozkenjs009@	高木 六郎	1018	
ESC:前画面	~				F12:次へ
2013/10/31	8.48				-

項目正しく設定されているか確認します。

データは最初は300件まで表示しています。「全件表示」で全件を表示する事ができます。

「↓外部へ取り出し」をクリックすると、見えているデータをExcelブックまたはテキスト ファイルで表示します。

DM準備:(予定数設定確認)

Ozsystem RFM分析Pro (BUND1001)		
1 追加	DM宛先準備	
DM番号 自動発番さ ⁷ 情報 メモ テスト	れます データ	設定完了時点で発番します。
抽出結果の予定数制御 でしない	現在の件数 7 C ランダムに予定枚数にあわす 予定数	-
最終印刷情報 最終印刷日時	最終印刷件数	
ESC:処理せず前画面へ		F12:実行
2013/10/23 15:44		

最終画面となります。

メモは、一覧から選択時に表示されますので、わかり易い文を設定します。

なお、大量データの場合、予定数を設定すると、予定数になるように自動的に 件数が絞りこまれます。

F12:実行で処理が完了します。

Ozsystem RFM分	时开Pro (BUND3001) 体験版		
	DM印刷		
	DM番号 00001 準備の 番号 でし	索引リストからの選択 F2:一覧表示 1 1:先頭から 2:指定番号以降 3 1:印刷済 2:未印刷 3:両方	
		番号一覧出力	
		該当番号の対象データ一覧出力	
	- 印刷範囲 ● 全て(印刷済み/未印刷にかかわら) ○ 未印刷のもの	ず全て)	
	「用紙」 「 こ ハガキ	1000 トサゴGB861	
		タックシール設定	
ESC:メニュー 2013/11/07	10:48	F12:次へ	

DM準備で作成したデータを印刷します。

印刷範囲

全て: DM準備で作成したデータを全て印刷します。 未印刷のもの全て: まだ印刷していないデータを全て印刷します。

用紙

ハガキかタックシールを指定します。タックシールの場合一覧にないものは 「タックシール設定」で新たに定義を追加する事ができます。P.78 参照参照

「番号一覧印刷」

作成されているDM番号の一覧をExcelブックとして作成します。

「該当番号の対象データー覧」

DM番号フィールドで指定したDM番号で、対象となった顧客データの一覧 をExcelブックとして作成します。

DM印刷:(印刷設定)

印刷の設定		
ESC:前画面	フォントの選択	フォントサイズ(ハガキ縦書きの場合) – (6 白新 住所 16
F6:テンプレート	フォントを規定値に	・ 指定サイズ 氏名 24 point
F7:プレビュー F8:印刷設定	MS 明朝	-位置微調整
F12:FI刷		● 左に ○ 右に 0.0 J mm
対象人数	● 全て ● 範囲指定	● 上に 「下に 0.0 J mm
人 8	開始 1 _ 先頭 これのみ	キーの印刷
	終了 6. 末尾	◎ 印刷しない ○ 印刷する
	- の置き換え	縦書き/横書き
	●しない ● してした ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	
	タックシール印刷開始位置	タックシールの枠の印刷
現在のプリンタ RICOH IPSIO GX 500	縦 1 横 1 から印刷 位置を設定	C 印刷しない で 印刷する



各パラメータを設定して、 F7:プレビューかF8:印刷をクリックします。 F6:テンプレートで設定を記憶する事ができます。

DM印刷:(タックシール設定)

m RFM分析Pro (BUNE	03101)
	タックシールサイズの設定
001:1000 002:2000 003:2010 004:2020 005:2030 006:3010 007:4010	ヒサゴGB861 コクヨ KJ-G2112/G2512 コクヨ KJ-E80915/KJ-E80916 コクヨ KJ-E80382/80362/80642/80919/80920 コクヨ LBP-E80382/362/642 MAKCELL CL70382 サンワサプライ JP-TA10A
X=2-~]	F11:追加 F12:実行
	m RFM分析Pro (BUNU 001:1000 002:2000 003:2010 004:2020 005:2030 006:3010 007:4010

追加する場合はF11:追加をクリックします。 修正する場合は、修正したい番号をダブルクリックするか、修正したい番号を選んで F12:実行をクリックします。

Ozsystem RFM	份析Pro (BUND3102)	NW/			_
E.		タックシ	/ールサイズIDの追加		
E E M:とサゴG A:2 B:8 C:4	→ A B → D (例作 → D (例作 → D (例作 → D (例作 → D (例作 → D () → D ()	C]0/♥イズ)	ID 名称 B: C: D: B: 概: 6 横: 2	- 6以内 2以内	P10.00 \$2
2013/10/28	15:27				L

更新するには、F12:更新を押します。 削除するには、IDの入力部分を空白にします。 ここで入力された I DがDM印刷時、タックシール用紙選択の一覧に出てきます。

DM/メールデータの保守:データのバックアップ

(JIGS1201)		
	データのバックアップ	
バックアップ格納フォルダ ▼:¥	N	参照一
ESC:前画面		F12:実 行

データのバックアップを作成します。 バックアップ格納フォルダを指定して、F12:実行 キーを押します。

バックアップしたデータは データの復元 P.80 参照 で復元することができます。

参考1:

いいお客様 Proは、最初の起動時に、ユーザのアップリケーションフォルダに 必要なデータを準備しています。その後、お使いになると回答データ等が 追加されていきます。 データは、OzsystemPro という名前のフォルダに格納されています。

- 例) Windows7 の場合 C:¥Users¥XXXX¥AppData¥Roaming¥OzsystemPro XXXXXは、WindowsのログインID
- 参考2:

例えば、バックアップ格納フォルダを D:\BACKDATA と指定した場合 D:\BACKDATA の下に OzsystemPro という名前のフォルダを作成し、バックアップデータ を格納します。

DM/メールデータの保守:データフォルダの変更

(JIGS1001)
データフォルダの変更
現在のデータフォルダ C:¥Users¥ozcr7¥AppData¥Roaming¥OzsystemJIG¥DATA
変更後データフォルダ 参照
• 現在のデータを変更後データフォルダに移動し、データフォルダを変更する。
○ データフォルダを変更する。
ESC:前画面 F12:実 行
いいお客様 P roは、最初の起動時に、ユーザのアップリケーションフォルダに 必要なデータを準備しています。その後、お使いになると回答データ等が

いいお客様 Proは、最初の起動時に、ユーザのアップリケーションフォルダに 必要なデータを準備しています。その後、お使いになると回答データ等が 追加されていきます。

このデータフォルダを変更します。 変更後データフォルダを指定して、<u>F12:実行</u>キーを押します。

◎現在のデータを変更後データフォルダに移動し、データフォルダを変更する。 これが、通常の指定です。 現在のデータを移動します。

◎データフォルダを変更する。 データの複写は行いません。 上級者で、データフォルダの構成がよく分かっている場合のみお使いください。

DM/メールデータの保守:データの復元

(JIGS1301)		
	データの復元	
バックアップデータのフォルダ		参照
ESC:前画面		F12:実 行]

データのバックアップで作成したバックアップデータを復元します。 バックアップデータのフォルダを指定して、F12:実行 キーを押します。 □いいお客様Pro及びいいお客様 Pro365(以下「本製品」といいます)をご使用になる前に、下記の使用許諾契約書(以下「本契約」という)をよくお読み下さい。甲は、本製品をコンピュータへインストールすることによって本契約のすべての条件に同意したものとみなされます。本契約の条件に同意いただけない場合は本製品をインストールし使用することはできません。

□本契約は、弊社の許諾に基づき作成された正規製品を弊社が認める方法で取得しご利用いただく場合の み有効に成立します。

ソフトウエア使用許諾契約書

この使用許諾契約は、本契約書と共にご使用になられる方(以下「甲」といいます)がいいお客様Pro及びいいお客様Pro365(以下「本製品」という)をご使用いただくにあたって、有限会社オズシステム(以下「乙」といいます)との条件を定めるものです。

(使用権の許諾)

第1条 甲は、甲が所有する装置一台に限り本製品をインストールし使用することができます。

2 前項にかかわらず、甲のご利用環境に応じて、甲の管理のもと第3条に違反しない範囲で、1台のコ ンピュータにのみインストールした本製品を複数人で使用することができます。

3 本製品に関する全ての権利は乙に帰属します。

4 本契約条件は、いかなる意味においても、本製品に関する知的財産権(特許権、実用新案権、著作権、 保護されるべき営業情報などを含みます)を甲に移転するものではありません。

5 甲は本製品をバックアップ目的に限り1コピーのみ複製することができます。

(期間及び終了)

第2条 本契約は、甲が本製品をインストール又はダウンロードされたときに発効し、次項の規定により 本契約が終了する場合を除き、甲が本製品の使用を継続する限り無期限に効力を有するものとします。

2 甲が本製品を本契約の規定に違反して使用した場合は、終了させることができるものとします。

3 いいお客様 Pro365 については、使用期限が過ぎた場合は、終了します。

4 いいお客様 Pro365 については、新たに延長キーを購入され入力した場合は、使用期限を決められた日数延長します。

5 前3項の規定により本契約の効力が終了したときは、甲は本製品に関する権利は消滅し、以後甲は本 製品に対する一切の権利を有さないものとします。この場合、甲は本製品及びその複製物の全てを、乙の 指示に従い、廃棄するものとします。

(禁止事項)

第3条 甲は、本製品を使用するにあたり、次の各号に定める行為を行ってはならないものとします。

(1)本製品の複製及び問題・マニュアル等関連資料の複製

(2) コンピュータプログラムの改変、本製品の全部又は一部の再配布・再使用許諾・公衆送信(送信可能 化を含む)、本製品の貸与・譲渡・レンタル・疑似レンタル行為・中古品取引

(3)法律、命令、処分、その他の規制に違反する行為

(4) 犯罪行為を惹起又は助長する行為その他犯罪行為に結びつく行為

(5)乙、又は第三者を誹謗中傷し、又はその名誉、信用を害する行為

(6) 虚偽情報、事実誤認を生じさせる情報等を掲載・配信する行為

(7) その他公序良俗に反する行為

(8)前各号の他、方法のいかんを問わず乙の運営を妨害する行為

(本製品の移転等)

第4条 甲は、本製品もしくは第1条の規定により許諾された使用権を第三者に対して再使用権を許諾し、
 譲渡し、移転し又はその他の処分をしてはなりません。
 2 甲は、本契約において明示的に許諾されている場合を除き、本製品の使用、複製、改変その他の行為をしてはなりません。

(責任の範囲)

第5条 甲が本製品から生じる影響につきましては、甲の責任とさせていただきます。本製品及びマニュ アルの使用に起因して甲又はその他の第三者に生じた結果的損害、付随的損害及び逸失利益に関して乙は 一切の責任を負いません。

(一般条項)

第6条 本契約は、日本国法に準拠するものといたします。

2 本契約に関連して発生した一切の紛争については、大阪地方裁判所または大阪簡易裁判所を第一審の 専属的合意管轄裁判所とします。